

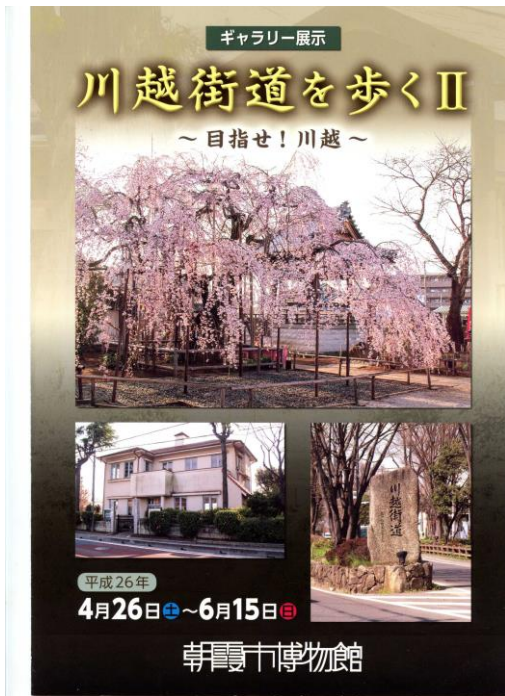
朝霞市博物館要覧

第10号

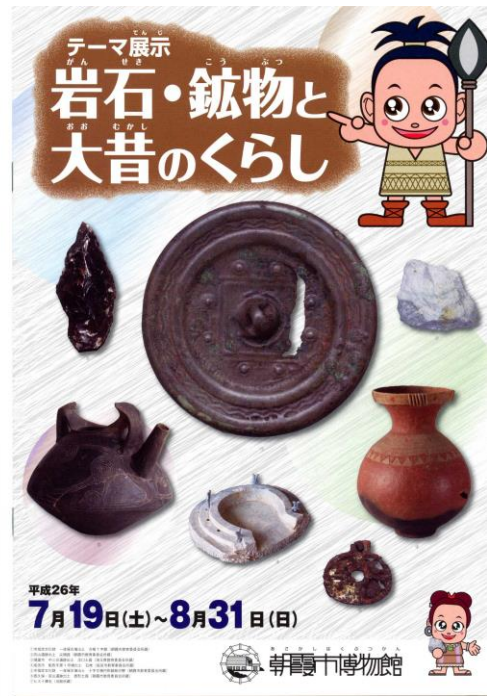
平成26年度・27年度

朝霞市博物館

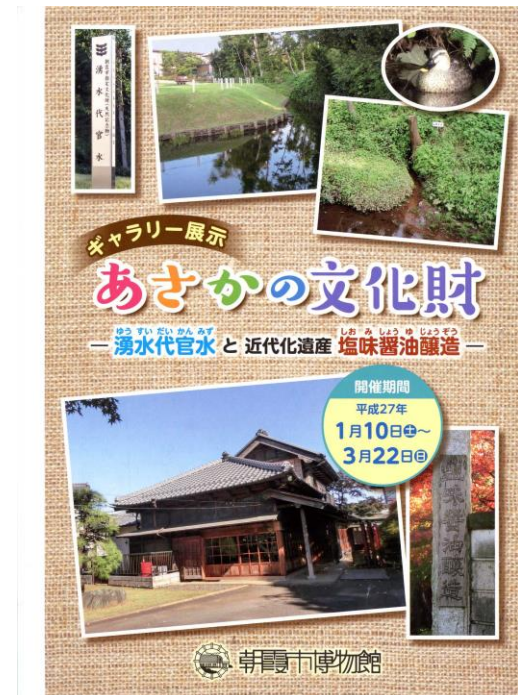
パンフレット



ギャラリー展示
川越街道を歩くⅡ
～目指せ！川越～
平成26年4～6月開催



テーマ展示
岩石・鉱物と
大昔の暮らし
平成26年7～8月開催

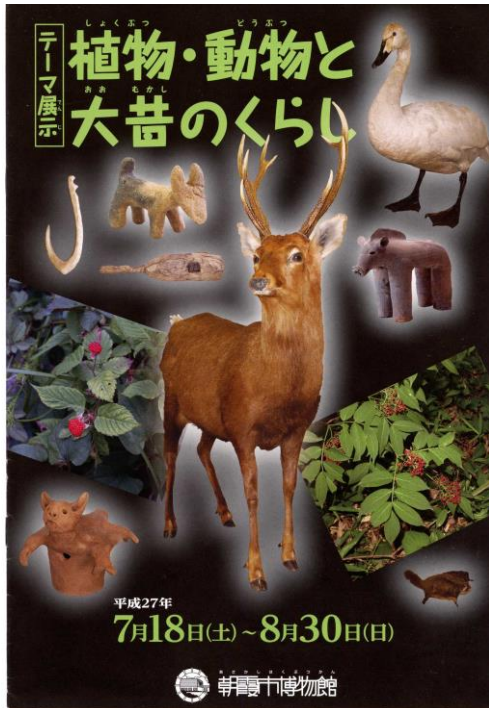


ギャラリー展示
あさかの文化財
—湧水代官水と近代化遺産塩味噌醸造—



ギャラリー展示
わがまち あさか
平成27年4～6月開催

パンフレット



テーマ展示
植物・動物と
大昔の暮らし
平成27年7~8月開催

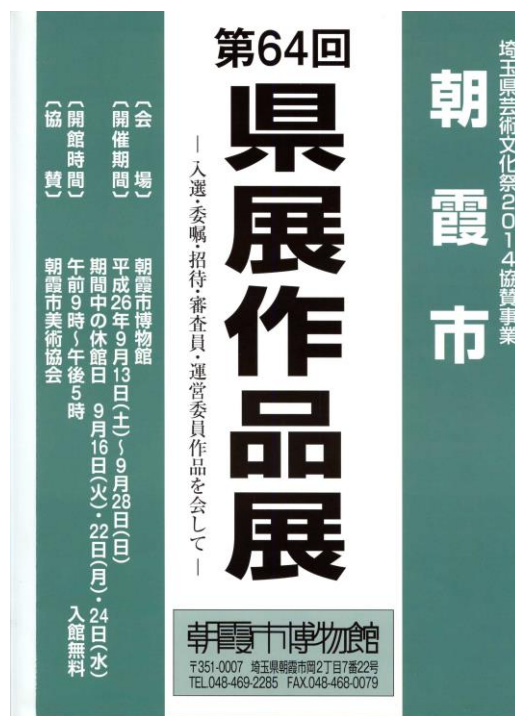


ギャラリー展示
あさかの古墳
~根岸古墳群と内間木古墳群~
平成28年1~5月開催

パンフレット



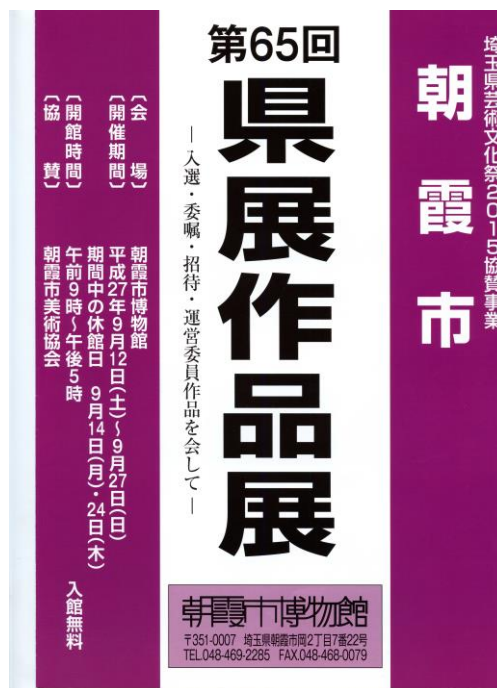
ギャラリー展示
みんなあーちすと
～○・□・△の大ぼうけん!～
平成26年7～9月開催



テーマ展示
第64回朝霞市県展作品展
平成26年9月開催



ギャラリー展示
みんなあーちすと
～かお・かお・かお～
平成27年7～9月開催



テーマ展示
第65回朝霞市県展作品展
平成27年9月開催

ごあいさつ

朝霞市博物館は、郷土の歴史を語るさまざまな文化財を収集・保存し活用を図る生涯学習の場として、平成9年2月に開館しました。

以来20年、常設展示・企画展示を中心とした展示事業、講座・体験学習からなる教育普及事業などの各種事業を展開してきました。

本書では平成26年度及び27年度の事業を総括し、要覧第10号として発刊させていただきます。当館の活動について、皆様にご理解をいただく一助となれば幸いです。

当館の事業運営にご支援、ご協力を賜りました多くの方々に心から御礼申し上げるとともに、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成29年3月

朝霞市博物館長

目 次

1. 沿革	1
2. 常設展示の概要	5
(1) 導入	
(2) 考古分野 — 「遺跡が語る朝霞」	
(3) 歴史分野 — 「陸の道 水の道」	
(4) 民俗分野 — 「水となりわい」	
(5) 美術・工芸分野 — 「朝霞の美術・工芸」	
(6) 資料紹介コーナー等	
(7) 展示室概略図	
3. 展示・教育普及事業	8
(1) 平成26年度	
(2) 平成27年度	
(3) 博学連携	
(4) 博物館学芸員実習	
(5) 利用統計	
4. 資料収集・保存事業	27
(1) 資料の収集及び活用	
(2) 収蔵資料の保存・修復事業	
(3) 収蔵資料数	
5. 調査研究事業	29
6. 委 員	30
(1) 朝霞市博物館協議会委員	
(2) 朝霞市博物館資料評価委員	
7. 刊行物	30
8. 資 料	36
(1) 朝霞市博物館資料収集方針	
(2) 朝霞市博物館資料評価委員及び資料評価会議開催に関する要項	
(3) 朝霞市博物館学芸員実習生受入実施要項	
(4) 朝霞市県展作品展開催要項	
(5) 朝霞市博物館条例・朝霞市博物館管理規則	
(6) 利用案内	
(7) 博物館全体図	
(8) 博物館平面図	

1. 沿革

平成	元年	8月	健康増進センター及び郷土資料館（仮称）検討委員会設置
平成	2年	1月	（仮称）郷土資料館建設用地取得
平成	3年	4月	資料館設立準備室設置
		7月	朝霞市資料館建設審議会設置
平成	4年	3月	朝霞市資料館基本計画（1）策定
平成	5年	3月	朝霞市資料館基本計画（2）策定
平成	6年	4月	資料館から博物館構想へ
平成	7年	1月	建築設計・展示設計業務委託完了
		5月	建築工事着工
		12月	展示工事着工
平成	8年	7月	建設工事完了
平成	9年	1月	展示工事完了
		2月	朝霞市博物館開館・記念式典 朝霞市博物館条例施行
		3月	朝霞市博物館協議会設置
		5月	向山遺跡出土「鉄斧」特別公開
		10月	朝霞市市制施行30周年記念事業「郷土の伝統芸能」開催 第1回企画展「あさかの弥生文化」開催
平成10年	4月		第2回企画展「獅子の芸能と信仰」開催
	5月		朝霞市博物館協議会開催
	6月		博物館法に基づく博物館登録原簿に登録される
	10月		第3回企画展「風と浪漫の情景－池田幹雄展－」開催
平成11年	2月		朝霞市博物館協議会開催
	3月		常設展示考古分野・歴史分野の一部展示替え
	4月		第4回企画展「極楽往生を願って」開催
	7月		朝霞市博物館協議会開催
	9月		朝霞市博物館資料収集方針策定 朝霞市博物館資料評価委員及び会議開催に関する要項施行
	10月		朝霞市博物館資料評価委員委嘱 第5回企画展「盃のある風景」開催
平成12年	2月		常設展示美術・工芸分野の一部展示替え
	3月		第6回企画展「川と人々の暮らし」開催
	6月		特定展示「第44回埼玉県名刀展－戦国時代の刀－」開催 （共催：埼玉県教育委員会・埼玉県刀剣保存協会）
	10月		第7回企画展「祈り・願い・想い－朝霞の絵馬－」開催 朝霞市博物館協議会開催
	12月		常設展示民俗分野の一部展示替え
平成13年	2月		登録美術品特別公開「モネとドラクロワ」開催 朝霞市博物館協議会開催
	3月		第8回企画展「なつかしのおもちゃ」開催
	10月		第9回企画展「旅－道中日記の世界－」開催 朝霞市博物館協議会開催
平成14年	1月		常設展示考古分野の一部展示替え

		特定展示「収藏品展」開催
	3月	朝霞市市制施行35周年・朝霞市博物館開館5周年記念 第10回企画展「富士と桜ー富士美術館コレクションー」開催 朝霞市博物館協議会開催
	7月	特定展示「朝霞市県展作品展」開催（協賛：朝霞市美術協会） 特定展示「埼玉の化石展」開催（共催：埼玉県立自然史博物館）
	9月	朝霞市博物館協議会開催
	10月	第11回企画展「縄文土器の世界」開催
平成15年	1月	特定展示「収藏品展」開催
	2月	朝霞市博物館協議会開催
	3月	第12回企画展「朝霞と鉄道」開催
	7月	特定展示「朝霞市県展作品展」開催（協賛：朝霞市美術協会） 特定展示「『石』とあそぼう！埼玉の岩石と鉱物」 開催（共催：埼玉県立自然史博物館） 常設展示歴史分野の一部展示替え
	10月	第13回企画展「朝霞の学校給食」開催（共催：朝霞市学校給食センター）
	11月	朝霞市博物館協議会開催
平成16年	1月	特定展示「収藏品展ー鷹と水車ー」開催
	2月	朝霞市博物館協議会開催
	3月	第14回企画展「ニッポンノキレイー丸沼芸術の森コレクションと朝霞の 工芸作家たちー」開催（共催：丸沼芸術の森、後援：社団法人日本工芸会）
	7月	特定展示「朝霞市県展作品展」開催（協賛：朝霞市美術協会） 特定展示「埼玉の希少野生植物ーみつめてみよう！みどりのなかまたち ー」開催（共催：埼玉県立自然史博物館）
	10月	第15回企画展「古のにひくらー朝霞市・新座市・志木市・和光市出土品 展ー」開催（共催：新座市教育委員会・志木市教育委員会・和光市教育委 員会） 朝霞市博物館協議会開催
平成17年	1月	特定展示「収藏品展ー朝霞の消防団ー」開催
	3月	朝霞市博物館協議会開催
		第16回企画展「鎧ー伊澤昭二コレクションとともにー」開催
	7月	特定展示「外来生物ー人に運ばれた生き物ー」開催
	9月	特定展示「朝霞市県展作品展」開催（協賛：朝霞市美術協会）
	10月	第17回企画展「広沢郷の時代ー中世の朝霞を探るー」開催
	11月	朝霞市博物館協議会開催
平成18年	1月	テーマ展示「収藏品展ーあったかい道具と昔の暮らしー」開催 ※特定展示をテーマ展示に名称変更する（博物館協議会の答申による）。
	2月	朝霞市博物館協議会開催 常設展示映像機器システム変更
	3月	第18回企画展「日本のカメラ今昔物語」開催
	7月	テーマ展示「つくろう自然のコレクション」開催
	9月	テーマ展示「朝霞市県展作品展」開催（協賛：朝霞市美術協会）
	10月	第19回企画展「雅楽ー音・舞・技ー」開催
	11月	朝霞市博物館協議会開催
平成19年	2月	朝霞市博物館協議会開催

- 朝霞市博物館開館10周年記念登録美術品特別公開「モネとドラクロワ」
開催（共催：丸沼芸術の森、協力：埼玉県立近代美術館）
- 3月 第20回企画展「埴輪の世界」開催
7月 テーマ展示「再発見！身近な木」開催
9月 テーマ展示「朝霞市県展作品展」開催（協賛：朝霞市美術協会）
10月 第21回企画展『「もんじょ」と「ぶんしょ」ー古文書解説と記録保存ー』開催
11月 朝霞市博物館協議会開催
12月 常設展示（民俗分野）展示替え
- 平成20年 2月 朝霞市博物館協議会開催
3月 テーマ展示『収蔵品展「新聞ー報道から記録へー』開催
第22回企画展「描かれた朝霞ー絵図・地図に見る郷土の風景ー」開催
7月 テーマ展示「黒目川・新河岸川の生き物」開催
9月 テーマ展示「朝霞市県展作品展」開催（協賛：朝霞市美術協会）
10月 第23回企画展「平安王朝ー源氏物語の時代ー」開催（後援：源氏物語千年紀委員会）
11月 朝霞市博物館協議会開催
- 平成21年 2月 朝霞市博物館協議会開催
7月 テーマ展示「石ー地球のかけらー」開催（共催：埼玉県立自然の博物館）
9月 テーマ展示「朝霞市県展作品展」開催（協賛：朝霞市美術協会）
10月 第24回企画展「邪馬台国時代の朝霞ー土器が語る交流の時代ー」開催
11月 朝霞市博物館協議会開催
- 平成22年 2月 朝霞市博物館協議会開催
2月 テーマ展示「丸沼芸術の森25周年記念ー所蔵コレクション展ー」開催（共催：丸沼芸術の森）
7月 テーマ展示「身近な生き物さがし」開催
9月 テーマ展示「朝霞市県展作品展」開催（協賛：朝霞市美術協会）
10月 第25回企画展「絵で遊ぶ 絵が遊ぶ〜ゲームもニュースも浮世絵で〜」開催
11月 朝霞市博物館協議会開催
- 平成23年 2月 朝霞市博物館協議会開催
7月 テーマ展示「色のいろいろ〜色の材料なーんだ？〜」開催
9月 テーマ展示「朝霞市県展作品展」開催（協賛：朝霞市美術協会）
10月 第26回企画展「鷹狩りと朝霞」開催
11月 朝霞市博物館協議会開催
- 平成24年 2月 朝霞市博物館協議会開催
7月 テーマ展示「やってみよう！公園の自然かんさつ」開催
9月 テーマ展示「朝霞市県展作品展」開催（協賛：朝霞市美術協会）
10月 朝霞市博物館開館15周年記念 第27回企画展「丸沼芸術の森コレクション 佐藤忠良展ー彫刻家 佐藤忠良と共に歩んだ作家たちー」
（共催：丸沼芸術の森）
朝霞市博物館協議会開催
- 平成25年 2月 朝霞市博物館協議会開催
7月 テーマ展示「川の魚たち〜身近な川をしらべよう！〜」開催

- 9月 テーマ展示「朝霞市県展作品展」開催（協賛：朝霞市美術協会）
- 10月 第28回企画展「縄文時代のアクセサリー」開催
- 11月 朝霞市博物館協議会開催
- 平成26年 2月 テーマ展示 朝霞市・瑞浪市交流事業「人間国宝 加藤孝造展」開催
（共催：丸沼芸術の森、後援：瑞浪市、瑞浪市教育委員会）
朝霞市博物館協議会開催
- 7月 テーマ展示「岩石・鉱物と大昔の暮らし」開催
- 9月 テーマ展示「朝霞市県展作品展」開催（協賛：朝霞市美術協会）
- 10月 第29回企画展「東洋一を目指してー朝霞が育てた日本人のゴルファー」
開催
朝霞市博物館協議会開催
- 平成27年 2月 朝霞市博物館協議会開催
- 7月 テーマ展示「動物・植物と大昔の暮らし」開催
- 9月 テーマ展示「朝霞市県展作品展」開催（協賛：朝霞市美術協会）
- 10月 第30回企画展「丸沼芸術の森所蔵品によるフランス美術の魅力ー19世紀の自然描写からエコール・ド・パリまでー」開催（主催：丸沼芸術の森・朝霞市博物館）
- 11月 朝霞市博物館協議会開催
- 平成28年 2月 朝霞市博物館協議会開催
- 7月 テーマ展示「つくろう自然のコレクション2」開催
- 9月 テーマ展示「朝霞市県展作品展」開催（協賛：朝霞市美術協会）
- 10月 朝霞市博物館開館20周年記念事業 テーマ展示「あさか・しき・にいざ・わこう四市合同 丸沼芸術の森コレクション展ーアンドリュー・ワイエスとベン・シャーンの世界ー」開催（主催：丸沼芸術の森・朝霞市・志木市・新座市・和光市）
- 11月 第31回企画展「小さな銅鐸を追ってー銅鐸形土製品と小銅鐸ー」開催
- 平成29年 2月 朝霞市博物館協議会開催

2. 常設展示の概要

当館の展示室では、考古、歴史、民俗、美術・工芸の4つの分野を柱として展示を行っている。展示方法は、各時代の流れに沿って展示する通史展示ではなく、分野ごとに独立したテーマを設け朝霞の特色を示すエポック展示を行っている。

(1) 常設展示室導入部

- ・朝霞マップ（航空写真）
- ・朝霞の自然（映像）

(2) 考古分野「遺跡が語る朝霞」

<平成14年1月～>

- ・復元住居（古墳時代）
- ・朝霞の遺跡（遺跡分布地図模型）
- ・煮る、盛る、貯える—縄文時代の土器
- ・弥生時代の道具—弥生時代の土器・石器
- ・朝霞の古墳時代
- ・土器パズル
- ・お話ポール（音声）
- ・銅鐸をならしてみよう（体験）
- ・なるほど歴史館（パソコンクイズ）

(3) 歴史分野「陸の道 水の道」

<平成15年7月～>

- ・膝折宿本陣
- ・膝折宿の様子（模型）
- ・新河岸川の舟運
- ・河岸場の様子（模型）
- ・東上線の開通
- ・朝霞の近代史
- ・戦時下の朝霞
- ・川越街道道中双六（クイズ）
- ・舟運クイズ
- ・お話しポール（音声）
- ・東武東上線すごろく（クイズ）

(4) 民俗分野「水となりわい」

<平成19年12月～>

- ・朝霞の水車の歴史
- ・伸銅工業のすべて
- ・銅製品
- ・むかしのくらし
- ・水車による伸銅—圧延（模型）
- ・水車動力伝達のしくみ装置（模型）
- ・水車による伸銅—熔解～仕上げ（模型）

(5) 美術・工芸分野「朝霞の美術・工芸」

<平成23年12月～ >

- ・仏像のいろいろ
- ・仏像の種類
- ・染色—染付型紙と浴衣
- ・鐘の音を聞こう (映像・音声)

(6) その他

- ・映像コーナー…展示の導入・補完となるようなプログラムで朝霞のことを紹介している。
 - 1 「朝霞市の生い立ち」 (約4分)
 - 2 「朝霞 歴史の道」 (約9分)
 - 3 「朝霞の四季と年中行事」 (約4分)
 - 4 「朝霞の湧水」 (約3分)
 - 5 「伸銅のはじまり」 (約3分)
 - 6 「八郎右衛門願い出る」 (約7分)
- ・収蔵資料紹介コーナー…展示室では、常設展示のテーマとは別に、収蔵資料の紹介コーナーを設けている (不定期開催)。
- ・生体展示…ラウンジ前の廊下では、水槽を設置し水生生物を飼育、紹介している。また、夏季には玄関にてカブトムシ (当館飼育) の展示を行っている。
- ・講座・体験教室関連展示…講座や体験教室と関連した小規模展示を行った。

平成22年度	博物館体験教室関連展示 「ワタから糸へ」【玄関】
	伝統文化体験講座関連展示 「木目込み人形」【玄関】
平成23年度	伝統文化体験講座関連展示 「木目込み人形」【玄関】
	博物館体験教室関連展示 「ワタから糸へ」【玄関】
平成24年度	博物館体験教室関連展示 「ワタから糸へ」【玄関】
平成25年度	「七夕かざり」【玄関】
平成26年度	「朝霞ゴルフ場クラブハウス」模型展示【玄関】
	博物館体験教室関連展示 「ワタから糸へ」【玄関】
平成27年度	博物館体験教室関連展示 「ワタから糸へ」【玄関】
	博物館で生まれたカブトムシ【玄関】

3. 展示・教育普及事業

(1) 平成26年度

事業・講座名	趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数 (人)
第29回企画展 「東洋一を目指して 一朝霞が育てた日本人のゴルファー」	朝霞町に昭和7年から昭和16年まで東京ゴルフ倶楽部が本拠を構えていたことに因み、スポーツ・建築・ファッションに視点を置き、朝霞ゴルフ場の設立から終焉までを追う中で、昭和初期の「文化」としてのゴルフを浮かび上がらせることを趣旨とした。 あわせて講座・講演会を実施した。	—	10月11日(土) ～11月24日(月・祝)	6,222
トークセッション 「朝霞ゴルフ場とゴルフの宮様」	昭和7年、朝霞町(現・朝霞市)にオープンした東京ゴルフ倶楽部朝霞ゴルフ場と倶楽部名誉総裁・朝香宮鳩彦王にあやかり、ゴルフ場を「朝霞」と命名したことなどについてのトークセッションを実施した。	一般	10月25日(土) 午後2時～3時30分 朝香宮鳩彦王孫 朝香 誠彦氏 東京ゴルフ倶楽部理事 水野 勝之氏 東京ゴルフ倶楽部史料室アドバイザー 福島 靖氏	62
講演会 「レーモンドと東京ゴルフ倶楽部ー白亜のクラブハウス物語ー」	大正2年に設立された東京ゴルフ倶楽部やチェコ人建築家・レーモンドの代表作である白亜のクラブハウスについて学んだ。	一般	11月1日(土) 午後2時～3時30分 建築家/レーモンド設計事務所代表取締役 三浦 敏伸氏	47
ゴルフ体験講座 「大人のスイング・チェックとQ&A」	気になるクセや直したいところを、プロゴルファーに聞きながら、博物館の広場でゴルフの体験をした。	一般	10月18日(土) ①午前10時～11時 ②午前11時～正午 ③午後1時30分～2時30分 ④午後2時30分～3時30分 ヨネックス所属プロゴルファー 櫻井 大樹氏	① 7 ② 7 ③ 7 ④ 7 のべ 28
ゴルフ体験講座 「子どもパターゴルフ大会」	博物館の広場で、パターゴルフを体験した。	小学生以上	11月16日(日) ①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時 朝霞市ゴルフ協会	① 10 ② 13 のべ 23
ギャラリートーク 単回2回	展示室にて展示資料の解説を行った。	一般	①11月8日(土) ②11月24日(月・祝) ※各日午後2時～3時 当館学芸員 伊藤 麻紀子	① 13 ② 17 のべ 30

事業・講座名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数 (人)
テーマ 展示	岩石・鉱物と 大昔の暮らし	岩石・鉱物などの自然資源を大昔の人びとがどのように利用してきたかについて、考古資料と岩石・鉱物標本を紹介した。また、夏休みの学習にもつなげることができるよう配慮した。	——	7月19日(土) ～8月31日(日)	8,512
	朝霞市県展作品展	第64回埼玉県美術展覧会(県展)において出品された市内作家の入選作品等を集めて紹介した。	——	9月13日(土) ～9月28日(日) 協賛:朝霞市美術協会 *展示作品数 27点 *アーティストトーク 9月20日(土)	3,484 アーティストトーク 18
ギ ャ ラ リ ー 展 示	川越街道を歩くⅡ ～目指せ!川越～	江戸末期の川越街道(新座市から終点の川越まで)の道筋を実際に歩き、現在に残る面影や文化財を写真で紹介した。	——	4月26日(土) ～6月15日(日)	5,976
	みんなあーちすと ～○・□・△の 大ぼうけん!～	プリントされた○や□がどんな冒険をしているのかを、一枚の画用紙の中で自由に表現する。制作及び展示は、夏休みワークショップの部と市内保育園・幼稚園の部に分けて実施した。	——	①9月6日(土) ～9月15日(月・祝) (一般参加作品展示) ②9月18日(木) ～9月28日(日) (市内保育園幼稚園児 作品展示) *展示作品総数 1,524点 一般 575点 保育園幼稚園 949点	① 1,475 ② 2,731 のべ 4,206
	みんなあーちすと ～○・□・△の 大ぼうけん!～ 作品制作 ワークショップ	来館者が自由に作品づくりを行えるワークショップを実施し、週替わりで絵画技法体験プログラムを行った。 《絵画技法体験プログラム》 ①フィンガーペイント ②ぼかし絵 ③モザイク ④スタンプ	どなた でも (おおむね 5才以上 ・ 小学生 中心)	7月23日(水) ～8月24日(日) ①7/23～8/3 ②8/5～8/10 ③8/12～8/17 ④8/19～8/24	① 275 ② 216 ③ 211 ④ 162 のべ 864
	みんなあーちすと ～○・□・△の 大ぼうけん!～ 「はだかんぼうの木」 おはなし会 〔2回〕	「はだかんぼうの木」中心に、絵本の読みきかせなどのおはなし会を行うことにより、展示への期待値を高める場とした。	どなたでも	8月29日(金) ①午前11時～11時20分 ②午後3時～3時20分 当館職員 「おはなしくらぶ」の みなさん	① 13 ② 4 のべ 17

事業・講座名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数 (人)
ギャラリー ー 展示	あさかの文化財 ー湧水代官水と近代 化遺産 塩味醤油醸造 ー	市指定天然記念物の湧水代官 水と近代化遺産の塩味醤油醸 造を写真等で紹介した。	――	平成 27 年 1 月 10 日(土) ～3 月 22 日(日)	9,431
	見学会 「行ってみよう！湧 水代官水と塩味醤油 醸造」 連続 2 回	写真等だけではなく実際に訪 ねて見学する。塩味醤油醸造 では、醤油資料館や商家、工場 内等を見学し、湧水代官水では あわせて東圓寺も案内した。	一般	①湧水代官水・東圓寺 平成 27 年 3 月 14 日(土) ②塩味醤油醸造 平成 27 年 3 月 17 日(火) ①②午後 1 時 30 分集 合 当館学芸員 佐藤 華織 栗原 和彦	① 23 ② 20 のべ 43
	ギャラリートーク 単回 2 回	ギャラリーにて展示資料の解 説を行った。	一般	①2 月 21 日(土) ②3 月 7 日(土) ※各日午後 2 時 ～2 時 30 分 当館学芸員 佐藤 華織	① 4 ② 0 のべ 4
資料 紹 介 展 示	髪飾るアクセサリ	当館所蔵の資料の中から、髪を 飾るアクセサリを江戸時代の 髪飾りの様子を伺える浮世 絵とあわせて紹介した。	――	2 月 7 日(金) ～7 月 27 日(日)	19,655
	学芸員実習生展示 子どもの「まなび」と 「あそび」	博物館学芸員実習プログラ ムの一環として、実習生による 資料紹介展示を実施した。子 どもの生活の中で、「学び」と 「遊び」を取り上げ、それぞ れの資料を紹介した。	――	8 月 5 日(火) ～9 月 28 日(日)	10,259
	雑誌と朝霞ゴルフ場	当館所蔵資料の中から、朝霞 ゴルフ場が掲載された雑誌『ア サヒグラフ』を紹介した。	――	11 月 6 日(木) ～平成 27 年 1 月 27 日(火)	9,128
	一富士二鷹三茄子	当館所蔵資料の中から、お正 月の縁起物「一富士二鷹三茄 子」を描いた引き札を展示し た。	――	12 月 6 日(土) ～平成 27 年 1 月 7 日(水)	2,085
	昭和初期の化粧品	当館所蔵資料の中から、昭和 初期の化粧品と当時の広告を 展示する。	――	平成 27 年 2 月 3 日(火) ～6 月 7 日(日)	6,224

事業・講座名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数 (人)
玄 関 展 示	「朝霞ゴルフ場クラブハウス」模型展示	第29回企画展「東洋一を目指して一朝霞が育てた日本人のゴルファー」で制作した模型を展示した。	——	11月26日(水) ～平成27年2月1日 (日)	7,391
	博物館体験教室関連 展示 「ワタから糸へ」	「糸紡ぎで糸を紡ごう」に関連して、綿から糸が出来るまでを資料で紹介した。	——	平成27年2月3日(火) ～6月30日(火)	6,224
博 物 館 体 験 教 室	年間 5回	様々な体験学習をとおり、伝統文化や郷土朝霞への興味と理解を育てた。			
	①火おこしに挑戦！ 〔2回〕	木製発火具を使った火おこし(舞錐式、弓錐式、紐錐式)、火打金を体験した。	どなたでも	5月10日(土) ①午後1時30分 ～2時15分 ②午後2時30分 ～3時15分 当館学芸員 齋藤 欣延	① 9組 26 ② 6組 20 のべ 15組 46
	②おりがみでお正月の縁起物を折ろう！ 〔2回〕	お正月を迎えるのにふさわしい縁起物をおりがみで折った。	どなたでも	12月23日(火・祝) ①午前9時30分 ～正午 ②午後1時～4時30分 折り鶴の会 当館学芸員 栗原 和彦	① 8組 17 ② 13組 23 のべ 21組 40
	③すごろくであそぼう！ 〔2回〕	江戸時代のすごろくを体験し、昔のお正月あそびを学習した。	どなたでも	平成27年 1月18日(日) ①午前9時30分 ～正午 ②午後1時～4時30分 当館学芸員 伊藤 麻紀子	8組 21
	④石臼ごろごろ 〔3回〕	石臼でつくったきな粉を七輪で焼いた餅につけて食べ、薬研で粉にしたお茶を飲むことで、昔ながらの道具の使い方を学習した。	どなたでも	平成27年 2月28日(土) ①午後1時30分 ～2時20分 ②午後2時30分 ～3時20分 ③午後3時30分 ～4時20分 当館学芸員 栗原 和彦 伊藤 麻紀子 齋藤 欣延 佐藤 華織 北岡 秀樹	① 4組 16 ② 5組 15 ③ 6組 20 のべ 15組 51

事業・講座名	趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数 (人)	
博物館 体験 教室	⑤糸車で糸を紡ごう 「5回」	綿繰り機で綿の実から種を取り、糸車を回して綿から糸を紡ぐ。	どなたでも	平成27年 3月22日(日) ①午前10時30分～ ②午前11時15分～ ③午後1時30分～ ④午後2時15分～ ⑤午後3時～ 染織サークルあかね	①4組 16 ②3組 6 ③4組 10 ④4組 14 ⑤4組 11 のべ 19組 57

事業・講座名	趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数 (人)	
夏休み体験教室	夏休み期間 全5日	小学生を対象とし、夏休みの自由研究の一助となるように、様々な体験学習を行った。また、本講座①～②は学芸員実習期間のため、教育普及事業の実務として実習生が参加児童の指導補助を担当した。			
	①縄文土器をつくろう！ 〔2回〕	縄文土器を観察し、縄文施文具と焼かなくても固まる粘土で土器をつくり、土器とはどのようなものかを学習した。 申込が87人あり、抽選により受講者40人を決定した。	小学生	7月25日(金) ①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時 当館学芸員 齋藤 欣延 学芸員実習生(10人)	① 20 ② 20 のべ 40
	②葉っぱのほんも 図鑑 〔2回〕	博物館敷地内にて葉を採集し、自分だけのほんもの図鑑を作成した。 申込が63人あり、抽選により受講者40人を決定した。	小学4～6 年生	7月30日(水) ①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時 当館専門調査員 青木 修 補助：当館学芸員 齋藤 欣延 学芸員実習生(9人)	① 19 ② 17 のべ 36
	③まが玉をつくろう 〔2回〕	ろう石を削ってまが玉作り、古代人の生活に触れてみた。自作のまが玉に紐を通して、自分だけのアクセサリーを作った。 申込が138人あり、抽選により受講者40人を決定した。	小学生	8月22日(金) ①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時 当館学芸員 齋藤 欣延	① 20 ② 23 のべ 43
	④たまねぎで染めてみよう	たまねぎの皮を使ってハンカチを染め、染色の仕組みについて学んだ。 申込が41人あり、抽選により受講者20人を決定した。	小学1～3 年生	8月27日(水) 午後1時30分～3時30分 染織サークル あかね 補助：当館学芸員 伊藤 麻紀子	20
	⑤たまねぎと〇〇で染めてみよう	たまねぎの皮や藍の生葉を使ってハンカチを染め、染色の仕組みについて学んだ。 申込が27人あり、抽選により受講者20人を決定した。	小学4～6 年生	8月28日(木) 午前10時～11時30分 染織サークル あかね 補助：当館学芸員 伊藤 麻紀子	19

事業・講座名	趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数 (人)
歴史講座 「東武東上線の1世紀」 連続3回	今年100年の節目を迎えた東武東上線の歴史について学習した。 ①新河岸川舟運から東上鉄道へ ②パンフレットに見る東上沿線の観光 ③東上線の100年と東武鉄道	一般	①6月28日(土) ふじみ野市立上福岡歴史民俗資料館 主任兼学芸員 橋本 祐可子 氏 ②7月5日(土) 練馬区立石神井公園ふるさと文化館 主任学芸員 渡邊 嘉之 氏 ③7月12日(土) 東武博物館 名誉館長 花上 嘉成 氏 *各回午後2時 ～3時30分	① 28 ② 24 ③ 32 のべ84
歴史講座 「鎌倉時代を考える」 連続3回	相模国鎌倉を拠点に展開した武家政権の約150年間について学習した。 ①源平合戦と鎌倉幕府の成立 ②執権政治の確立と御家人の動向 ③蒙古襲来と幕府の崩壊	一般	①1月31日(土) 武蔵大学人文学部 教授 高橋 一樹 氏 ②2月7日(土) 東京大学史料編纂所 教授 本郷 和人 氏 ③2月14日(土) 専修大学文学部 教授 湯浅 治久 氏 *各回午後2時 ～3時30分	① 65 ② 62 ③ 68 のべ195
古文書講座 「はじめての古文書」 隔週連続6回	朝霞市内に残されている古文書を読み解き、古文書の読み方を学習するとともに、地域の歴史を学習した。	一般	①12月7日(日) ②12月21日(日) ③1月11日(日) ④1月25日(日) ⑤2月8日(日) ⑥2月22日(日) ※各回とも 午前10時～正午 立正大学 講師 栗原 健一 氏	① 38 ② 38 ③ 35 ④ 34 ⑤ 34 ⑥ 33 のべ212

(2) 平成27年度

事業・講座名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数 (人)
第30回企画展	第30回企画展 「丸沼芸術の森所蔵品によるフランス美術の魅力 －19世紀の自然描写からエコール・ド・パリまで－」	丸沼倉庫45周年と丸沼芸術の森30周年を記念し、丸沼芸術の森コレクションの中から、モネやコローなど、フランス美術に焦点をあてた作品を展示した。 あわせて講座・講演会を実施した。 主催：丸沼芸術の森・朝霞市博物館	—	10月10日(土) ～11月23日(月・祝)	7,834
	講演会① 「丸沼芸術の森とコレクション形成について」	丸沼芸術の森をはじめたきっかけや、美術品を収集することになったいきさつについて講演いただき、コレクションの形成過程について学んだ。	一般	10月18日(日) 午後2時～3時 丸沼芸術の森主宰 須崎 勝茂 氏	60
	講演会② 「丸沼芸術の森コレクションと埼玉県立近代美術館」	丸沼芸術の森コレクションと埼玉県立近代美術館の関係について講演いただき、作品鑑賞について学んだ。	一般	10月31日(土) 午後2時～3時30分 埼玉県立近代美術館専門員兼学芸員 前山 裕司 氏	33
	体験講座 「たまごを使って絵を描いてみよう！」	テンペラ絵具で作品を描く体験を通じて、絵具の特性や中世絵画について学んだ。	中学生 以上	11月8日(日) 午前10時 ～午後2時30分 画家・武蔵野美術大学教授 山本 靖久 氏	11
	ギャラリートーク 単回2回	展示室にて展示資料の解説を行った。	一般	①10月24日(土) ②11月23日(月・祝) ※各日午後1時30分 ～2時30分 丸沼芸術の森学芸員 大竹 輝明 氏	① 26 ② 52 のべ78
テーマ展示	動物・植物と 大昔の暮らし	動物・植物などの自然資源を大昔の人びとがどのように利用してきたかについて、旧石器時代から古墳時代の考古資料とあわせて動物剥製や植物標本を通じて紹介した。また、夏休みの学習にもつなげることができるよう、主対象を小学生とした。	—	7月18日(土) ～8月30日(日)	8,417
	朝霞市県展作品展	第65回埼玉県美術展覧会(県展)において出品された市内作家(協賛団体会員を含む)の入选・委嘱・招待作品等を集めて紹介した。	—	9月12日(土) ～9月27日(日) 協賛：朝霞市美術協会 *展示作品数 33点 *アーティストトーク1回開催	3,850 アーティストトーク 41

事業・講座名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数 (人)
ギ ヤ ラ リ ー 展 示	わがまちあさか	起伏に富んだ地形や自然が残り、伝統文化や彩夏祭など古さと新しさが融合する魅力ある朝霞市に注目し、朝霞市写真連盟の協力のもと紹介した。	——	4月25日(土) ～6月14日(日)	5,647
	みんなあーちすと ～かお・かお・かお～	参加者がプリントされた輪郭をもとに、自分や家族のかおをさまざまな絵画技法を用いて作品を制作、出品した。制作及び展示は、夏休みワークショップの部と市内保育園・幼稚園の部に分けて実施した。	——	①9月5日(土) ～9月13日(日) (一般参加作品展示) ②9月16日(水) ～9月27日(日) (市内保育園幼稚園児 作品展示) *展示作品総数 一般 702点 保育園幼稚園 1,028点	① 1,485 ② 3,130 のべ 4,615
	みんなあーちすと ～かお・かお・かお～ 作品制作 ワークショップ	来館者が自由に作品づくりを行えるワークショップを実施し、週替わりで絵画技法体験プログラムを行った。 《絵画技法体験プログラム》 ①フィンガーペイント ②モザイク ③スタンプ ④ぼかし絵	どなた でも (おおむね 5才以上 ・ 小学生 中心)	7月25日(土) ～8月23日(日) ①7/25～8/2 ②8/4～8/9 ③8/12～8/16 ④8/18～8/23	① 271 ② 235 ③ 231 ④ 174 のべ 911
	みんなあーちすと ～かお・かお・かお～ 「はだかんぼうの木」 おはなし会	「みんなあーちすと」のシンボル「はだかんぼうの木」に関連したテーマで絵本の読みかきせを行うことにより、展示への期待値を高める場とした。	どなたでも	8月21日(金) ①午前11時 ～11時20分 ②午後3時 ～3時20分 おはなしくらぶ 山本 美恵子 氏 村中 理香 氏	① 14 ② 10 のべ 24
	あさかの古墳 ～根岸古墳群と 内間木古墳群～	市内にひろがる根岸古墳群と内間木古墳群を取り上げ、往時のようすを伝える初公開の写真や出土資料などを展示した。	どなたでも	平成28年 1月23日(土) ～5月8日(日)	13,321

事業・講座名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数 (人)
資料 紹介 展示	昭和初期の化粧品	当館所蔵資料の中から、昭和初期の化粧品と当時の広告資料を紹介した。	——	平成27年2月3日(火) ～6月18日(木)	15,406
	学芸員実習生展示 「戦後70年をむかえて」	博物館学芸員実習プログラムの一環として、実習生による資料紹介展示を実施した。「教科書」と「ファッション」の視点から戦争を取り上げ、資料を紹介した。	——	8月4日(火) ～11月29日(日)	20,254
	破魔弓と羽子板	年末年始にふさわしい資料として破魔弓と羽子板を展示し、あわせて破魔弓と羽子板の歴史や初正月の慣習など民俗分野の内容について紹介した。	——	12月12日(土) ～平成28年 1月17日(日)	3,067
	独楽	お正月の遊びとして定着している独楽を展示し、歴史や日本各地に様々な種類の独楽があることを紹介した。	——	平成28年1月9日(土) ～6月16日(木)	19,788
玄 関 展 示	博物館体験教室関連 展示 「ワタから糸へ」	「糸紡ぎで糸を紡ごう」に関連して、綿から糸が出来るまでを資料で紹介した。	——	①平成27年 2月3日(火) ～6月30日(火) ②平成28年 2月2日(火) ～6月30日(木)	①15,703 ②16,411
	博物館で生まれた カブトムシ	夏季の子ども向け展示の関連事業として、博物館で育てているカブトムシを生体展示した。	——	7月18日(土) ～8月30日(日)	8,417

事業・講座名	趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数 (人)
年間 5回	様々な体験学習をとおり、伝統文化や郷土朝霞への興味と理解を育てる。			
①火おこしに挑戦！ 〔2回〕	木製発火具を使った火おこし（舞錐式）を体験した。希望者は紐錐式・ひもぎり式・ゆみぎり式も体験した。	どなたでも	5月9日（土） ①午後1時30分～2時15分 ②午後2時30分～3時15分 当館学芸員 齋藤 欣延	① 10組 37 ② 11組 36 のべ 21組 73
②お正月飾りをつくろう！	ワラすぐり、縄ない、正月飾り（輪飾り）作りを体験し、正月飾り作り方や由来について学習した。	小中学生とその保護者	12月26日（土） 午後1時30分～4時 当館学芸員 齋藤 欣延	12組 27
③おりがみで干支を折ろう！	平成28年の干支・申にちなみ、折り紙でさるや縁起物を折った。	どなたでも	平成28年1月9日（土） 午前9時30分～11時30分 午後1時～4時 日本折紙協会講師 本多 秀子 氏	22組 39
④石臼ごろごろ 〔3回〕	石臼でひいたきな粉を七輪で焼いた餅にまぶして食べ、薬研で粉にしたお茶を飲むことで、昔ながらの道具の使い方を学習した。	どなたでも	平成28年 2月20日（土） ①午後1時30分～2時20分 ②午後2時30分～3時20分 ③午後3時30分～4時20分 当館学芸員 江原 順	① 7組 21 ② 6組 18 ③ 6組 20 のべ 19組 59
⑤糸車で糸を紡ごう 〔3回〕	綿繰り機で綿の実から種を取り、糸車を回して綿から糸を紡いだ。	どなたでも	平成28年 3月13日（日） ①午後1時30分～ ②午後2時15分～ ③午後3時～ 染織サークルあかね	① 5組 11 ② 6組 13 ③ 5組 16 のべ 16組 40

博物館体験教室

事業・講座名	趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数 (人)	
夏休み体験教室	夏休み期間 全5日	小学生を対象とし、夏休みの自由研究の一助となるように、様々な体験学習を行った。また、本講座①～②は学芸員実習期間のため、教育普及事業の実務として実習生が参加児童の指導補助を担当した。			
	①ひもでアクセサリ ーをつくろう！ 〔2回〕	日本や中国・韓国で伝統的な結びである「アジアノット」でアクセサリを作った。 申込129人あり、抽選により受講者48人を決定した。	小学生	7月24日(金) ①午後1時30分 ～2時30分 ②午後3時～4時 当館職員 北岡 秀樹 学芸員実習生(8人)	① 24 ② 24 のべ48
	②葉っぱのほんもの 図鑑 〔2回〕	博物館敷地内にて葉を採集し、自分だけのほんもの図鑑を作成した。 申込が103人あり、抽選により受講者40人を決定した。	小学生	7月29日(水) ①午前10時 ～11時30分 ②午後1時30分～3時 当館専門調査員 青木 修 補助：当館学芸員 齋藤 欣延 学芸員実習生(8人)	① 18 ② 18 のべ36
	③むかしの繊維を つくってみよう！ 〔2回〕	昔の衣服に使われていたカラムシから繊維をとって、葉紐を作った。葉絵柄には拓本を使用した。 申込が53人あり、抽選により受講者32人を決定した。	小学3年生～中学生	8月5日(水) ①午前10時 ～11時30分 ②午後1時30分～3時 当館専門調査員 青木 修 当館学芸員 齋藤 欣延 江原 順	① 16 ② 11 のべ27
	④縄文土器をつくろう！ 〔2回〕	縄文土器を観察し、縄文施文具と焼かなくても固まる粘土で土器をつくり、土器とはどのようなものかを学習した。 申込が200人あり、抽選により受講者40人を決定した。	小学生	8月11日(火) ①午前10時 ～11時30分 ②午後1時30分～3時 当館学芸員 齋藤 欣延	① 19 ② 20 のべ39
	⑤まが玉をつくろう！ 〔2回〕	ろう石を削ってまが玉作り、古代人の生活に触れてみた。出来たまが玉に紐を通して、自分だけのアクセサリを作った。 申込が203人あったため急遽定員を8人増員し、抽選により受講者48人を決定した。	小学生	8月20日(木) ①午前10時 ～11時30分 ②午後1時30分～3時 当館学芸員 齋藤 欣延 教職員20年経験者研修生(1人)	① 24 ② 24 のべ48

事業・講座名	趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数 (人)
歴史講座 前期 「武蔵野を拓く」 連続 3回	江戸時代以降、台地と低地それぞれの視点から、朝霞市域を含む武蔵野の新田開発について学習した。 ①近世前期の武蔵野開発 ②武蔵野台地の新田開発～埼玉県域を中心に～ ③利根川改変と江戸の開発	一般	①5月23日(土) 川越市立博物館 学芸担当主査 宮原 一郎 氏 ②6月13日(土) 富士市文化振興課職員 杉本 寛郎 氏 ③6月6日(土) 葛飾区郷土と天文の博物館学芸員 橋本 直子 氏 *各回午後2時 ～3時30分	① 44 ② 40 ③ 43 のべ127
歴史講座 後期 「古墳を考える」 連続 3回	一般的な古墳の概説は近畿地方中心のものになりがちであるが、東日本、さらには朝霞からの視点を交え古墳について学習する。 ①朝霞から視る古墳時代の始まり ②古墳時代の甲冑の技術変遷とその埋納意義について～一夜塚古墳出土甲冑の評価を踏まえて～ ③東国における後・終末期古墳～畿内との対比から～	一般	①2月27日(土) 公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団 福田 聖 氏 ②3月5日(土) 公益財団法人 元興寺文化財研究所 塚本 敏夫 氏 ③3月12日(土) 専修大学文学部教授 土生田 純之 氏 *各回午後2時 ～3時30分	① 39 ② 29 ③ 34 のべ102
古文書講座 「はじめての古文書」 連続6回	朝霞市内に残されている古文書を読み解き、古文書の読み方を学習するとともに、地域の歴史を学習した。	一般	①11月29日(日) ②12月20日(日) ③1月10日(日) ④1月24日(日) ⑤2月7日(日) ⑥2月21日(日) ※各回とも 午前10時～正午 立正大学 講師 栗原 健一 氏	① 35 ② 36 ③ 35 ④ 36 ⑤ 35 ⑥ 32 のべ209

(3) 博学連携

①博物館利用検討委員会

博物館利用検討委員会は、博物館がもつ、「もの」「ば」「ひと」を有効に活用し、学習を豊にするため、学校現場と博物館とのより良い協力関係を目指して、朝霞市教育委員会学校教育部教育指導課の主催により設置されている。平成27年度には『朝霞市博物館利用事業資料集Ⅰ』を刊行した。

<平成26年度朝霞市博物館利用検討委員会委員>

所 属	職 名	氏 名	備 考
朝霞第五小学校	校長	嶋 徹	委員長
朝霞第一中学校	教頭	唐 松 善 人	副委員長
朝霞第一小学校	教諭	堀 越 容 子	
朝霞第二小学校	教諭	宮 尾 多 希	
朝霞第三小学校	教諭	山 口 大 輔	
朝霞第四小学校	教諭	森 脇 秀 幸	
朝霞第五小学校	教諭	須 藤 悠 樹	
朝霞第六小学校	教諭	須 藤 恵 介	
朝霞第七小学校	教諭	椎 名 瑠 美	
朝霞第八小学校	教諭	山 口 真 実	
朝霞第九小学校	教諭	佐 藤 英 恵	
朝霞第十小学校	教諭	赤 松 裕 介	
朝霞第一中学校	教諭	須 藤 光 太 郎	
朝霞第二中学校	教諭	大 和 田 景 也	
朝霞第三中学校	教諭	吉 沼 勇 樹	
朝霞第四中学校	教諭	福 田 拓 也	
朝霞第五中学校	教諭	関 川 裕 介	

<平成26年度事務局>

所 属	職 名	氏 名
学校教育部指導課	課長	金 子 二 郎
学校教育部指導課	指導主事	小 林 美 加
朝霞市博物館	館長	杉 西 恭 子
朝霞市博物館	主査(学芸員)	齋 藤 欣 延

<平成27年度朝霞市博物館利用検討委員会委員>

所 属	職 名	氏 名	備 考
朝霞第十小学校	校長	矢 田 敦 子	委員長
朝霞第六小学校	教頭	高 柳 政 行	副委員長
朝霞第一小学校	教諭	戸 部 佳 奈 子	
朝霞第二小学校	教諭	矢 部 有	
朝霞第三小学校	教諭	栗 原 美 加	
朝霞第四小学校	教諭	森 脇 秀 幸	
朝霞第五小学校	教諭	鈴 木 亨	
朝霞第六小学校	教諭	池 戸 大 貴	
朝霞第七小学校	教諭	伊 藤 桃 子	
朝霞第八小学校	教諭	山 口 真 実	
朝霞第九小学校	教諭	遠 山 孝 代	
朝霞第十小学校	教諭	吉 本 圭 佑	
朝霞第一中学校	教諭	須 藤 光 太 郎	
朝霞第二中学校	教諭	小 松 邦 彦	

朝霞第三中学校	教諭	大和田 景也	
朝霞第四中学校	教諭	武口 耕太	
朝霞第五中学校	教諭	平林 篤人	

＜平成27年度事務局＞

所 属	職 名	氏 名
学校教育部教育指導課	課長	金子 二郎
学校教育部教育指導課	指導主事	松本 欣巳
朝霞市博物館	館長	杉西 恭子
朝霞市博物館	主査（学芸員）	齋藤 欣延
朝霞市博物館	主任（学芸員）	江原 順

②小学校1、3、6年生博物館利用授業

授業による博物館利用の促進を目的とする。

社会科にて郷土学習を始める小学校3年生と、歴史学習を始める小学校6年生を対象に、各種体験学習・展示資料調べ学習等の授業を行った。また、小学校1年生を対象に国語科「たぬきの糸車」の授業による糸車の体験を行った。内容については、各小学校・博物館利用検討委員会・教育指導課とともに検討している。

＜小学校1年生博物館利用授業＞

	実施日	学校名・クラス数	人数	概要
平成26年度	2月 3日(火)	朝霞第一小学校1年生4C【出張授業】	120	「たぬきの糸車」の授業による博物館利用（糸車の体験）を行った。
	2月 10日(火)	朝霞第八小学校1年生5C【出張授業】	163	
	2月 12日(木)	朝霞第十小学校1年生3C【出張授業】	96	
	2月 17日(火)	朝霞第四小学校1年生4C【出張授業】	112	
	2月 18日(水)	朝霞第二小学校1年生4C【出張授業】	139	
	2月 19日(木)	朝霞第九小学校1年生2C【出張授業】	70	
	2月 20日(金)	朝霞第七小学校1年生5C【出張授業】	147	
	2月 24日(火)	朝霞第六小学校1年生5C【出張授業】	158	
	2月 25日(水)	朝霞第三小学校1年生4C【出張授業】	123	
	3月 4日(水)	朝霞第五小学校1年生5C【出張授業】	157	
	合計	10校 41クラス	1,285	
平成27年度	2月 3日(水)	朝霞第五小学校1年生5C【出張授業】	152	「たぬきの糸車」の授業による博物館利用（糸車の体験）を行った。
	2月 4日(木)	朝霞第一小学校1年生3C【出張授業】	88	
	2月 5日(金)	朝霞第四小学校1年生4C【出張授業】	119	
	2月 9日(火)	朝霞第十小学校1年生4C【出張授業】	112	
	2月 10日(水)	朝霞第六小学校1年生5C【出張授業】	145	
	2月 16日(火)	朝霞第九小学校1年生2C【出張授業】	40	
	2月 17日(水)	朝霞第七小学校1年生4C【出張授業】	120	
	2月 18日(木)	朝霞第八小学校1年生3C【出張授業】	91	
	2月 19日(金)	朝霞第八小学校1年生3C【出張授業】	99	
	2月 24日(水)	朝霞第三小学校1年生4C【出張授業】	134	
3月 2日(水)	朝霞第二小学校1年生4C【出張授業】	121		
	合計	10校 41クラス	1,221	

※出張授業については、各学校を会場としている。

< 小学校 3 年生博物館利用授業 >

	実施日	学校名・クラス数	人数	概要
平成 26 年度	1月14日(水)	朝霞第十小学校3年生3C	101	石臼・縄ない機等の 民具体験学習、民具 展示の調べ学習を行 った。
	1月15日(木)	朝霞第七小学校3年生4C	140	
	1月16日(金)	朝霞第一小学校3年生3C	111	
	1月20日(火)	朝霞第六小学校3年生4C	139	
	1月21日(水)	朝霞第五小学校3年生4C	143	
	1月22日(木)	朝霞第三小学校3年生3C	109	
	1月27日(火)	朝霞第四小学校3年生3C	97	
	1月29日(木)	朝霞第二小学校3年生3C	113	
	1月30日(金)	朝霞第九小学校3年生2C	61	
	2月4日(水) 2月5日(木)	朝霞第八小学校3年生5C	168	
	合計	10校34クラス	1,182	
平成 27 年度	1月14日(木)	朝霞第七小学校3年生4C	152	石臼・縄ない機等の 民具体験学習、民具 展示の調べ学習を行 った。
	1月15日(金)	朝霞第一小学校3年生3C	110	
	1月19日(火)	朝霞第四小学校3年生3C	125	
	1月20日(水)	朝霞第十小学校3年生3C	92	
	1月21日(木)	朝霞第二小学校3年生3C	104	
	1月26日(火)	朝霞第六小学校3年生4C	144	
	1月26日(火)	朝霞第五小学校3年生4C	140	
	1月28日(木)	朝霞第八小学校3年生5C	182	
	1月29日(金)	朝霞第九小学校3年生2C	55	
	2月2日(火)	朝霞第三小学校3年生3C	117	
	合計	10校34クラス	1,221	

< 小学校 6 年生博物館利用授業 >

	実施日	学校名・クラス数	人数	概要
平成 26 年度	4月23日(水)	朝霞第六小学校6年生4C【出張授業】	146	火おこし体験学習を 行った。
	5月1日(木)	朝霞第十小学校6年生3C【出張授業】	111	
	5月2日(金)	朝霞第五小学校6年生5C【出張授業】	172	
	5月8日(木)	朝霞第二小学校6年生3C【出張授業】	119	
	5月9日(金)	朝霞第九小学校6年生2C【出張授業】	62	
	6月11日(水)	朝霞第八小学校6年生4C【出張授業】	150	
		合計	6校21クラス	
平成 27 年度	4月22日(水)	朝霞第二小学校6年生4C【出張授業】	130	火おこし体験学習を 行った。
	4月28日(火)	朝霞第八小学校6年生4C【出張授業】	145	
	5月1日(金)	朝霞第六小学校6年生4C【出張授業】	126	
	5月20日(火)	朝霞第十小学校6年生3C【出張授業】	92	
	5月28日(木)	朝霞第五小学校6年生4C【出張授業】	149	
	6月6日(土)	朝霞第九小学校6年生2C【出張授業】	60	
	合計	6校21クラス	702	

※出張授業については、各学校を会場としている。

(4) 博物館学芸員実習

以下のとおり、博物館学芸員課程履修学生の受け入れを行った。

<平成26年度>

実施日	内 容
7月24日(木)	オリエンテーション 館内見学 館長講話 夏休み体験教室「縄文土器をつくろう」準備・模擬
7月25日(金)	夏休み体験教室「縄文土器をつくろう」補助・片付け
7月26日(土)	展示①展示計画 施設管理
7月28日(月)	展示室清掃 展示②史料調査他
7月29日(火)	展示③資料選定・展示プラン作成 夏休み体験教室「葉っぱのほんもの図鑑」準備・模擬
7月30日(水)	夏休み体験教室「葉っぱのほんもの図鑑」補助・片付け
7月31日(木)	展示③資料選定・展示プラン作成 展示④解説資料・チラシ作製
8月1日(金)	展示⑤解説資料・チラシ作製 展示⑥展示台作製
8月4日(月)	展示⑦資料梱包・解説資料・キャプション作成 展示⑧列品・ライティング
8月5日(火)	展示⑨開設準備 展示⑩解説(入館者向け) 展示⑪講評・展示修正 閉講

大学名	学部学科	受入人数
成城大学	文芸学部芸術学科	1
武蔵野美術大学	科目等履修生	1
日本女子大学	文学部史学科	1
帝京大学	文学部史学科	1
学習院大学	文学部史学科	1
お茶の水女子大学	教育学部人文科学科	1
日本大学	文理学部史学科	1
大東文化大学	文学部日本文学科	1
大東文化大学	国際関係学部国際文化学科	1
合計	8大学	9

<平成27年度>

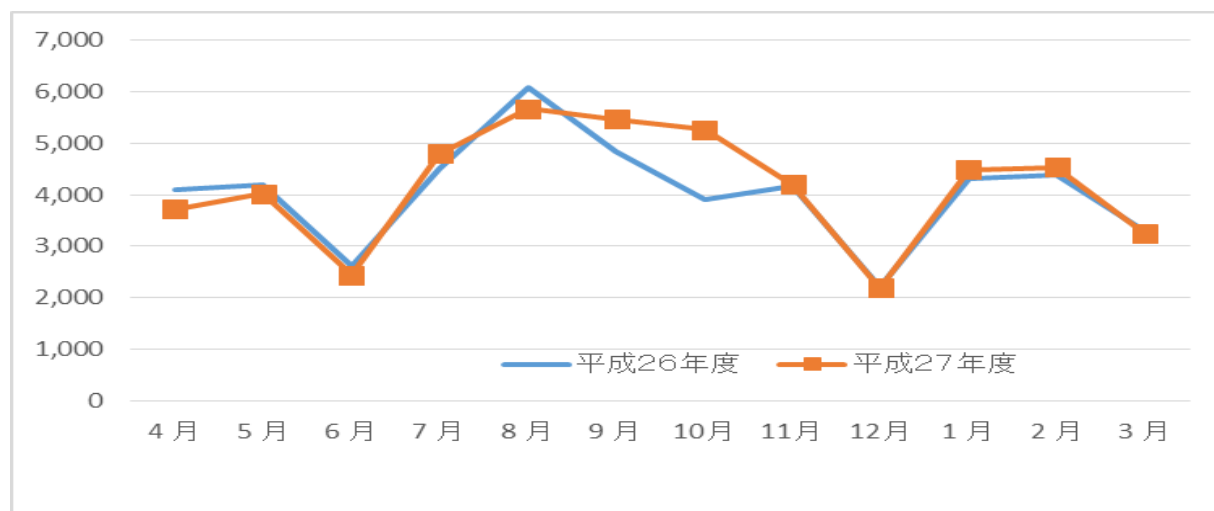
実施日	内 容
7月23日(木)	オリエンテーション 館内見学 展示①展示計画 施設管理 夏休み体験教室「ひもでアクセサリーをつくろう！」準備・模擬
7月24日(金)	館長講和・文化財野外調査 夏休み体験教室「ひもでアクセサリーをつくろう！」補助
7月25日(土)	収蔵庫整理 展示②資料調査
7月27日(月)	展示室清掃 展示③資料選定・展示プラン作成
7月28日(火)	展示③資料選定・展示プラン作成 夏休み体験教室「葉っぱのほんもの図鑑」準備・模擬
7月29日(水)	夏休み体験教室「葉っぱのほんもの図鑑」補助
7月30日(木)	展示④解説資料・チラシ作成
7月31日(金)	刀剣の手入れ 展示に⑤展示台等作製
8月3日(月)	展示⑥資料梱包 展示⑦解説資料・キャプション作成 展示⑧列品・ライティング
8月4日(火)	展示について⑨展示解説準備 展示について⑩展示解説(入館者向け) 展示について⑪講評・展示修正 閉講

大学名	学部学科	受入人数
東京農業大学	農学部農学科	1
日本大学	文理学部史学科	1
東京女子大学	現代教養学部人文学科	1
京都造形芸術大学	芸術学部美術科(通信教育部)	1
大東文化大学	文学部日本文学科	1
立教大学	現代心理学部映像身体学科	1
大東文化大学	法学部政治学科	1
学習院大学	文学部日本語日本文学科	1
合計	7大学	8

5) 利用統計

	月	開館 日数	入館者数	平均 入館者数	学校団体		一般団体	
					団体数	人数	団体数	人数
平成 26 年度	4月	24	4,094	171	6	219	9	78
	5月	26	4,192	161	5	470	14	136
	6月	18	2,609	145	2	242	12	127
	7月	27	4,517	167	0	0	29	348
	8月	27	6,093	226	1	25	28	301
	9月	24	4,834	201	0	0	21	306
	10月	27	3,909	145	2	47	17	206
	11月	25	4,180	167	1	15	21	205
	12月	20	2,204	110	1	6	11	128
	1月	22	4,324	197	11	1,026	13	119
	2月	22	4,376	199	10	1,296	6	47
	3月	25	3,273	131	1	157	11	136
	合計	287	48,605	169	40	3,503	192	2,137
平成 27 年度	4月	24	3,717	155	7	325	18	234
	5月	26	4,022	155	4	376	18	156
	6月	18	2,442	136	2	162	15	142
	7月	27	4,803	178	3	43	27	260
	8月	26	5,669	218	0	0	27	243
	9月	26	5,473	211	0	0	19	246
	10月	27	5,271	195	0	0	22	249
	11月	23	4,201	183	0	0	13	137
	12月	21	2,189	104	3	21	8	71
	1月	23	4,488	195	11	1,116	11	155
	2月	22	4,541	206	11	1,217	11	86
	3月	26	3,236	124	1	121	13	146
	合計	289	50,052	173	42	3,381	202	2,125
累計 平成8~27年度	5,481	968,800	177	728	53,673	2,124	29,374	

※入館者数は団体人数を含む。



4. 資料収集・保存事業

(1) 資料の収集及び活用

当館の収蔵資料は、資料館設立準備室設置（平成3年）以前に教育委員会で収集した資料、準備室及び博物館が寄贈・寄託を受けた資料、調査・展示等のために借用している資料を基本とする。また、平成11年度以降は「朝霞市博物館資料収集方針」（巻末参照）に沿って、購入による資料収集も行っている。

これらの資料は、館有資料目録や資料利用目録を刊行し、展示や各種教育普及事業を通じて公開・活用を図っている。

収集方法	収集資料登録点数	
	平成26年度	平成27年度
購入	98	9
寄贈等※1	284	508
寄託	0	0
借用	0	0
計	382	517

※1 採集・製作などを含む。

(2) 収蔵資料の保存・修復事業

資料の劣化を防ぐため、汚損・折れ・切れ等に対する修復処置を施した。

<平成26年度>

「鶴御成」修復

<平成27年度>

「脇差（銘 天然子壽昌）」・「脇差（無銘）」修復

(3) 収蔵資料数

分野	分類	所属	点数	
考古資料		寄贈等	702	702
歴史資料	古文書	寄贈等	1,884	47,358
		購入	45	
		寄託	45,429	
	刊行物	寄贈等	7,318	7,571
		購入	237	
		寄託	16	
	地図	寄贈等	505	553
		購入	47	
		寄託	1	
	写真	寄贈等	3,854	3,864
		購入	10	
	音声・映像	寄贈等	3,682	3,684
購入		2		
美術・工芸資料	書蹟	寄贈等	32	40
		寄託	8	
	絵画	寄贈等	124	325
		購入	56	
	彫刻	寄託	145	4
		館有	4	
	工芸	寄贈等	93	185
購入		14		
寄託		78		
民俗資料	民俗・芸能	寄贈等	10,757	11,061
		購入	182	
		寄託	122	
	伸銅	寄贈等	3,909	3,918
		寄託	9	
	防災	寄贈等	135	139
		寄託	4	
	戦争	寄贈等	282	292
寄託		10		
石造物	寄贈等	22	22	
自然科学系資料	生物	寄贈等	1,771	1,912
	地質	寄贈等	124	
		購入	17	
合計				81,630
図書資料		寄贈	24,605	29,378
		購入	4,773	

- 1 平成28年3月31日現在の登録収蔵資料である。
- 2 資料点数については、当館資料番号を以って1点としている。
- 3 資料分類については、調査の進行に伴い必要に応じて変更している。

5. 調査研究事業

収蔵資料・展示に関わる調査研究のほか、下記の調査を行った。

資料記録保存

朝霞市博物館で所蔵している古文書（主に相沢晴長家文書）のうち、明治から昭和前期の文書の中には酸性紙にこんにやく版・孔版などで印刷され劣化の著しい資料が含まれている。現状は中性紙封筒に収納しているが、このような文書はいずれ文字を判読することが困難になってしまう。

資料の内容保存の方法にはマイクロフィルム化もあるが、現状の精度では完全に補完できないため、平成17年度から、専門調査員・調査補助員により、資料内容を書き取り記録保存する古文書調査を実施している。

資料番号	文書名	総資料点数	孔版資料点数	調査終了年度
託 97-5	相沢晴長家文書（第2次調査）※	約 35,000 点	約 5,000 点	～25年度 654 点 26年度 192 点 27年度 69 点 継続中 計 915 点

※現在調査中の「相沢晴長家文書（第2次調査）」については、資料点数が膨大なため、孔版資料の書き取り記録保存調査については、時代の古い明治時代の資料から優先して行っている。

6 委員

(1) 朝霞市博物館協議会委員 (順不同、敬称略)

金子 幸男	平成 9年	2月20日～		
林 宏一	平成11年	2月20日～		
茂木 静枝	平成17年	2月20日～		
大越 久子	平成21年	2月20日～		
高橋 千里	平成25年	2月20日～		
榎本 洋二	平成26年	2月10日～		
小太刀 周	平成27年	4月23日～		
駒牧 容子	平成28年	1月20日～		
矢田 敦子	平成27年	4月23日～		
金子 八郎	平成27年	2月20日～		
村上 優枝	平成17年	2月20日～平成27年	2月19日	
本山 好子	平成24年	1月26日～平成27年	12月17日	
石橋 慎一郎	平成25年	5月23日～平成27年	3月31日	
嶋 徹	平成25年	5月23日～平成27年	3月31日	

7. 刊行物

①企画展示図録 (第30回企画展はリーフレット)

書名	刊行	判型	頁数	頒布価格
第1回企画展 あさかの弥生土器 －鉄斧とその時代－	平成9年10月	A4判	42頁	1,000円
第2回企画展 獅子の芸能と信仰 －厄除・子育て・五穀豊穰－	平成10年3月	A4判	44頁	1,000円
第3回企画展 風と浪漫の情景 －池田幹雄展－	平成10年10月	A4判	44頁	1,000円
第4回企画展 極楽往生を願って	平成11年3月	A4判	48頁	1,000円
第5回企画展 盃のある風景	平成11年10月	A4判	48頁	1,000円
第6回企画展 川と人々の暮らし	平成12年3月	A4判	46頁	1,000円
第7回企画展 祈り・願い・想い －朝霞の絵馬－	平成12年10月	A4判	38頁	1,000円
第8回企画展 なつかしのおもちゃ	平成13年3月	A4判	34頁	1,000円
第9回企画展 旅 一道中日記の世界	平成13年10月	A4判	49頁	1,000円
市制施行35周年・博物館開館5周年記念 第10回企画展 富士と桜 －富士美術館コレクション－	平成14年3月	A4判	42頁	1,000円
第11回企画展 縄文土器の世界	平成14年10月	A4判	38頁	1,000円
第12回企画展 朝霞と鉄道	平成15年3月	A4判	46頁	1,000円
第13回企画展 朝霞の学校給食	平成15年10月	A4判	40頁	1,000円

第14回企画展 ニッポンノキレイ －丸沼芸術の森コレクションと朝霞の 工芸作家たち－ ※ポストカード5枚組 300円	平成16年3月	A4判	40頁	1,000円
第15回企画展 古のにひくら －朝霞市・新座市・志木市・和光市出土品展－	平成16年10月	A4判	41頁	1,000円
第16回企画展 鎧 －伊澤昭二コレクションとともに－	平成17年3月	A4判	42頁	1,000円
第17回企画展 広沢郷の時代 －中世の朝霞を探る－	平成17年10月	A4判	31頁	1,000円
第18回企画展 日本のカメラ今昔物語	平成18年3月	A4判	48頁	1,000円
第19回企画展 雅楽－音・舞・技－	平成18年10月	A4判	47頁	1,000円
第20回企画展 埴輪の世界	平成19年3月	A4判	53頁	1,000円
第21回企画展 「もんじょ」と「ぶんしよ」 －古文書解読と記録保存－	平成19年10月	A4判	53頁	1,000円
第22回企画展 描かれた朝霞 －絵図・地図に見る郷土の風景－	平成20年3月	A4判	51頁	1,000円
第23回企画展 平安王朝 －源氏物語の時代－	平成20年10月	A4判	51頁	1,000円
第24回企画展 邪馬台国時代の朝霞 －土器が語る交流の時代－	平成21年10月	A4判	61頁	1,000円
第25回企画展 絵で遊ぶ 絵が遊ぶ －ゲームもニュースも浮世絵で－	平成22年10月	A4判	45頁	1,000円
第26回企画展 鷹狩りと朝霞	平成23年10月	A4判	53頁	1,000円
第27回企画展 丸沼芸術の森コレクション 佐藤忠良展－彫刻家 佐藤忠良 と共に歩んだ作家たち－	平成24年10月	A4判	49頁	1,000円
第28回企画展 縄文時代のアクセサリ	平成25年10月	A4判	57頁	1,000円
第29回企画展 東洋－を目指して －朝霞が育てた日本人のゴルフ－	平成26年9月	A4判	52頁	1,000円
第30回企画展 丸沼芸術の森所蔵によるフ ランス美術の魅力－19世紀の自然描写か らエコール・ド・パリまで－	平成27年10月	A4判 リーフ レット	4頁	—

②テーマ展示・ギャラリー展示の図録・パンフレット・チラシ類

書名	刊行年月日	判型	頁数	頒布価格
花鳥のよそおい 着物下絵にみる模様のモチーフ	平成9年6月	A4判	8頁	—
平成9年度 朝霞市県展作品展	平成9年7月	A4判	1枚	—
みんなあ-ちすと つくる・かざる・みる	平成9年7月	A5判	4頁	—
朝霞市指定文化財写真展 あさかのたからもの	平成9年11月	A4判	4頁	—
かたどられたもよう 着物染付型紙にみる伝統美	平成10年2月	A4判	8頁	—
蓮と誕生仏の写真展	平成10年6月	A4判	4頁	—
平成10年度 朝霞市県展作品展	平成10年7月	A4判	1枚	—
みんなあ-ちすと つくる・かざる・みる	平成10年5月	A5判	4頁	—
描かれた魂 竹田幸子作品 尾崎豊の肖像画展	平成10年11月	A4判	4頁	—
縄文土器の美	平成11年5月	A4判	4頁	—
平成11年度 朝霞市県展作品展	平成11年7月	A4判	4頁	—
みんなあ-ちすと つくる・かざる・みる	平成11年7月	A5判	4頁	—
多彩なる染色の世界 ー原梢美展ー	平成11年11月	A4判	38頁	800円

遊覧飛行あさかⅡ	平成 12 年 1 月	A4 判	4 頁	—
日本の城	平成 12 年 5 月	A4 判	4 頁	—
第 44 回埼玉県名刀展—戦国時代の刀—	平成 12 年 6 月	A4 判	4 頁	—
平成 12 年度 朝霞市県展作品展	平成 12 年 7 月	A4 判	4 頁	—
みんなあ-ちすと つくる・かざる・みる	平成 12 年 7 月	A5 判	4 頁	—
朝霞の年中行事 冬	平成 12 年 12 月	A4 判	4 頁	—
登録美術品特別公開 モネとドラクロワ	平成 13 年 2 月	A4 判	1 枚	—
あさかの湧き水	平成 13 年 5 月	A4 判	4 頁	—
夏の生き物	平成 13 年 7 月	A4 判	4 頁	—
平成 13 年度 朝霞市県展作品展	平成 13 年 7 月	A4 判	4 頁	—
みんなあ-ちすと つくる・かざる・みる	平成 13 年 7 月	A5 判	4 頁	—
博物館の草花	平成 13 年 12 月	A4 判	4 頁	—
収蔵品展	平成 14 年 1 月	A4 判	1 枚	—
埼玉の埴輪	平成 14 年 5 月	A4 判	4 頁	—
平成 14 年度 朝霞市県展作品展	平成 14 年 7 月	A4 判	4 頁	—
水辺の生き物	平成 14 年 7 月	A4 判	4 頁	—
埼玉の化石展	平成 14 年 7 月	A4 判	4 頁	—
みんなあ-ちすと つくる・かざる・みる	平成 14 年 7 月	A5 判	4 頁	—
富士山	平成 14 年 11 月	A4 判	4 頁	—
収蔵品展	平成 15 年 1 月	A4 判	1 枚	—
弥生土器の世界	平成 15 年 5 月	A4 判	4 頁	—
平成 15 年度 朝霞市県展作品展	平成 15 年 7 月	A4 判	4 頁	—
石と遊ぼう!埼玉の岩石と鉱物 空から見よう!荒川と台地	平成 15 年 7 月	A4 判	8 頁	—
みんなあ-ちすと つくる・かざる・みる	平成 15 年 7 月	A6 判	8 頁	—
埼玉の鉄道	平成 15 年 11 月	A4 判	4 頁	—
収蔵品展 鷹と水車	平成 16 年 1 月	A4 判	1 枚	—
石の神さま仏さま	平成 16 年 5 月	A4 判	4 頁	—
平成 16 年度 朝霞市県展作品展	平成 16 年 7 月	A4 判	4 頁	—
埼玉の希少野生植物 —みつめてみよう!みどりのなかまたち— 身近な生き物	平成 16 年 7 月	A4 判	8 頁	—
みんなあ-ちすと —名画に挑戦—	平成 16 年 7 月	A4 判	四つ折	—
遊覧飛行あさかⅢ	平成 16 年 11 月	A4 判	4 頁	—
収蔵品展 朝霞の消防団	平成 17 年 1 月	A4 判	1 枚	—
埼玉の観音札所	平成 17 年 5 月	A4 判	4 頁	—
外来生物 —人に運ばれた生き物— はじめての標本づくり	平成 17 年 7 月	A4 判	12 頁	—
みんなあ-ちすと —名画に挑戦—	平成 17 年 7 月	A4 判	四つ折	—
平成 17 年度 朝霞市県展作品展	平成 17 年 9 月	A4 判	4 頁	—
黒目川の散策	平成 17 年 12 月	A4 判	4 頁	—
収蔵品展—あったかい道具と昔の暮らし—	平成 18 年 1 月	A4 判	1 枚	—
川越街道を歩く	平成 18 年 5 月	A4 判	4 頁	—
みんなおいでよ 博物館は発見がいっぱい! ※平成 18 年度夏休み期間事業案内	平成 18 年 7 月	A5 判	4 頁	—
つくろう自然のコレクション 荒川の石	平成 18 年 7 月	A4 判	12 頁	—
平成 18 年度 朝霞市県展作品展	平成 18 年 9 月	A4 判	4 頁	—
新河岸川の散策 —新河岸川の舟運の河岸場跡を訪ねて—	平成 18 年 12 月	A4 判	4 頁	—
朝霞市博物館開館 10 周年記念 登録美術品特別公開 モネとドラクロワ	平成 19 年 2 月	A4 判	1 枚	—

古民家探訪	平成 19 年 5 月	A4 判	4 頁	—
みんなおいでよ 博物館は発見がいっぱい！ ※平成 19 年度夏休み期間事業案内	平成 19 年 7 月	A5 判	4 頁	—
再発見！身近な木 カブトムシの飼い方	平成 19 年 7 月	A4 判	12 頁	—
平成 19 年度 朝霞市県展作品展	平成 19 年 9 月	A4 判	4 頁	—
越戸川の散策	平成 19 年 12 月	A4 判	4 頁	—
収蔵品展 新聞－報道から記録へ－	平成 20 年 2 月	A4 判	1 枚	—
地域の遺跡を訪ねて －水・川そして人－岡の城山	平成 20 年 5 月	A4 判	4 頁	—
みんなおいでよ 博物館は発見がいっぱい！ ※平成 20 年度夏休み期間事業案内	平成 20 年 7 月	A5 判	4 頁	—
黒目川・新河岸川の生き物	平成 20 年 7 月	A4 判	12 頁	—
平成 20 年度 朝霞市県展作品展	平成 20 年 9 月	A4 判	4 頁	—
荒川（旧入間川）の散策	平成 20 年 12 月	A4 判	4 頁	—
野火止用水の散策（都内編） －清流の復活－	平成 21 年 4 月	A4 判	4 頁	—
みんなおいでよ 博物館は発見がいっぱい！ ※平成 21 年度夏休み期間事業案内	平成 21 年 7 月	A5 判	4 頁	—
石－地球のかけら－	平成 21 年 7 月	A4 判	12 頁	—
平成 21 年度 朝霞市県展作品展	平成 21 年 9 月	A4 判	4 頁	—
地域の遺跡を訪ねてⅡ －水・川そして人－泉水山遺跡	平成 21 年 12 月	A4 判	4 頁	—
丸沼芸術の森 25 周年記念 －所蔵コレクション展－	平成 22 年 2 月	A4 判	1 枚	—
野火止用水の散策	平成 22 年 5 月	A4 判	4 頁	—
みんなおいでよ 博物館は発見がいっぱい！ ※平成 22 年度夏休み期間事業案内	平成 22 年 7 月	A5 判	4 頁	—
身近な生き物さがし	平成 22 年 7 月	A4 判	12 頁	—
平成 22 年度 朝霞市県展作品展	平成 22 年 9 月	A4 判	4 頁	—
重要文化財旧高橋家住宅 保存修理の記録	平成 22 年 12 月	A4 判	4 頁	—
遊覧飛行あさかⅣ －朝霞町を空からみると－	平成 23 年 4 月	A4 判	4 頁	—
博物館は発見がいっぱい！ ※平成 23 年度夏休み期間事業案内	平成 23 年 7 月	A5 判	4 頁	—
色のいろいろ 色の材料な～んだ？	平成 23 年 7 月	A5 判	8 頁	—
平成 23 年度 朝霞市県展作品展	平成 23 年 9 月	A4 判	4 頁	—
縄文の足跡 西久保・宮山遺跡	平成 24 年 1 月	A4 判	4 頁	—
朝霞市指定文化財「町名改称許可書」 修復記念展示	平成 24 年 4 月	A4 判	4 頁	—
博物館は発見がいっぱい！ ※平成 24 年度夏休み期間事業案内	平成 24 年 7 月	A5 判	4 頁	—
やってみよう！公園の自然かんさつ	平成 24 年 7 月	A4 判	4 頁	—
平成 24 年度 朝霞市県展作品展	平成 24 年 9 月	A4 判	4 頁	—
朝霞市指定有形文化財「一夜塚古墳出土遺物」指定記念 一夜塚古墳と柊塚古墳	平成 25 年 1 月	A4 判	4 頁	—
博物館は発見がいっぱい！ ※平成 25 年度夏休み期間事業案内	平成 25 年 7 月	A5 判	4 頁	—
川の魚たち～身近な川をしらべよう！～	平成 25 年 7 月	A4 判	4 頁	—
平成 25 年度 朝霞市県展作品展	平成 25 年 9 月	A4 判	4 頁	—
人間国宝 加藤孝造展	平成 26 年 1 月	A4 判	1 枚	—
すごろくをよむ	平成 26 年 1 月	A4 判	4 頁	—
川越街道を歩くⅡ～目指せ！川越	平成 26 年 4 月	A4 判	4 頁	—
博物館は発見がいっぱい！	平成 26 年 7 月	A5 判	4 頁	—

※平成 26 年度夏休み期間事業案内				
岩石・鉱物と大昔のくらし	平成 26 年 7 月	A4 判	8 頁	—
平成 26 年度 朝霞市県展作品展	平成 27 年 9 月	A4 判	4 頁	—
あさかの文化財 —湧水代官水と近代化遺産 塩味醤油醸造—	平成 27 年 1 月	A4 判	4 頁	—
わがまち あさか	平成 27 年 4 月	A4 判	4 頁	—
博物館は発見がいっぱい！ ※平成 27 年度夏休み期間事業案内	平成 27 年 7 月	A5 判	4 頁	—
植物・動物と大昔のくらし	平成 27 年 7 月	A4 判	8 頁	—
平成 27 年度 朝霞市県展作品展	平成 27 年 9 月	A4 判	4 頁	—
あさかの古墳 —根岸古墳群と内間木古墳群—	平成 28 年 1 月	A4 判	6 頁	—

※パンフレット・リーフレット類の頁数については、表紙・裏表紙を含む。

③教育普及資料

書名	刊行年月	判型	頁数	頒布価格
朝霞市博物館資料利用目録Ⅰ	平成 11 年 3 月	A4 判	14 頁	—
朝霞市博物館資料利用目録Ⅱ	平成 12 年 3 月	A4 判	20 頁	—
朝霞市博物館資料利用目録Ⅲ	平成 13 年 3 月	A4 判	24 頁	—
朝霞市博物館活用授業実践事例集Ⅰ	平成 14 年 3 月	A4 判	47 頁	—
朝霞市博物館活用授業実践事例集Ⅱ	平成 16 年 1 月	A4 判	34 頁	—
朝霞市博物館活用授業実践事例集Ⅲ	平成 18 年 3 月	A4 判	68 頁	—
朝霞市博物館活用授業実践事例集Ⅳ	平成 20 年 3 月	A4 判	68 頁	—
朝霞市博物館活用授業実践事例集Ⅴ	平成 22 年 3 月	A4 判	78 頁	—
朝霞市博物館活用授業実践事例集Ⅵ	平成 24 年 3 月	A4 判	17 頁	—
朝霞市博物館活用授業実践事例集Ⅶ	平成 26 年 3 月	A4 判	78 頁	—
朝霞市博物館利用事業資料集Ⅰ	平成 28 年 3 月	A4 判	73 頁	—

④調査・研究資料

書名	刊行年月	判型	頁数	頒布価格
朝霞市博物館館有資料目録Ⅰ	平成 9 年 10 月	A4 判	53 頁	500 円
朝霞市博物館館有資料目録Ⅱ	平成 10 年 3 月	A4 判	49 頁	500 円
朝霞市博物館館有資料目録Ⅲ	平成 11 年 3 月	A4 判	96 頁	500 円
朝霞市博物館館有資料目録Ⅳ	平成 12 年 3 月	A4 判	74 頁	500 円
朝霞市博物館館有資料目録Ⅴ	平成 17 年 3 月	A4 判	85 頁	500 円
朝霞市博物館館有資料目録Ⅵ	平成 18 年 3 月	A4 判	89 頁	500 円
朝霞市博物館館有資料目録Ⅶ	平成 19 年 3 月	A4 判	105 頁	500 円
朝霞市博物館研究紀要第 1 号	平成 10 年 3 月	A4 判	31 頁	500 円
朝霞市博物館研究紀要第 2 号	平成 11 年 3 月	A4 判	42 頁	500 円
朝霞市博物館研究紀要第 3 号	平成 12 年 3 月	A4 判	37 頁	500 円
朝霞市博物館研究紀要第 4 号	平成 13 年 3 月	A4 判	51 頁	500 円
朝霞市博物館研究紀要第 5 号	平成 14 年 3 月	A4 判	38 頁	500 円
朝霞市博物館研究紀要第 6 号	平成 15 年 3 月	A4 判	56 頁	500 円
朝霞市博物館研究紀要第 7 号	平成 16 年 3 月	A4 判	49 頁	500 円
朝霞市博物館研究紀要第 8 号	平成 17 年 3 月	A4 判	51 頁	500 円
朝霞市博物館研究紀要第 9 号	平成 18 年 3 月	A4 判	57 頁	500 円
朝霞市博物館研究紀要第 10 号	平成 19 年 3 月	A4 判	57 頁	500 円
朝霞市博物館研究紀要第 11 号	平成 20 年 3 月	A4 判	57 頁	500 円
朝霞市博物館研究紀要第 12 号	平成 22 年 3 月	A4 判	55 頁	500 円
朝霞市博物館研究紀要第 13 号	平成 24 年 3 月	A4 判	59 頁	500 円
朝霞市博物館研究紀要第 14 号	平成 26 年 3 月	A4 判	34 頁	500 円
朝霞市博物館研究紀要第 15 号	平成 28 年 3 月	A4 判	39 頁	500 円

朝霞市博物館調査報告書 第1集 水車・伸銅・にんじん	平成13年3月	A4判	83頁	500円
朝霞市博物館調査報告書 第2集 厚川家所蔵銭貨調査報告書	平成14年3月	A4判	56頁	500円
朝霞市博物館調査報告書 第3集 中世資料集成1 板碑編	平成15年3月	A4判	28頁	500円
朝霞市博物館調査報告書 第4集 中世資料集成2 遺跡・石塔編	平成16年3月	A4判	46頁	500円
朝霞市博物館調査報告書 第5集 館有史料概要目録(相沢家文書)	平成20年3月	A4判	38頁	500円
朝霞市博物館調査報告書 第6集 朝霞市指定文化財 奥住家文書 史料集・目録	平成25年3月	A4判	128頁	500円
朝霞市博物館調査報告書 第7集 朝霞歴史年表	平成27年3月	A4判	55頁	500円

⑤その他

書名	刊行年月	判型	頁数	頒布価格
朝霞市博物館総合案内	平成9年3月	A4判	50頁	1,000円
朝霞市博物館要覧 第1号 平成8・9年度	平成11年2月	A4判	28頁	—
朝霞市博物館要覧 第2号 平成10・11年度	平成12年10月	A4判	33頁	—
朝霞市博物館要覧 第3号 平成12・13年度	平成14年9月	A4判	39頁	—
朝霞市博物館要覧 第4号 平成14・15年度	平成17年3月	A4判	40頁	—
朝霞市博物館要覧 第5号 平成16・17年度	平成19年3月	A4判	40頁	—
朝霞市博物館要覧 第6号 平成18・19年度	平成21年3月	A4判	42頁	—
朝霞市博物館要覧 第7号 平成20・21年度	平成23年3月	A4判	44頁	—
朝霞市博物館要覧 第8号 平成22・23年度	平成25年3月	A4判	49頁	—
朝霞市博物館要覧 第9号 平成24・25年度	平成27年3月	A4判	51頁	—

8. 資料

(1) 朝霞市博物館資料収集方針

(平成11年9月1日)

当館は、資料の収集に関してテーマを設定する。資料の収集は「博物館」としての固有の使命ではあるが、更に入館者数の維持・増大を図るため、コレクションの独自性並びに他館との差別化は必要である。この目的を恒常的に達成するために明確なテーマを定めるものである。

収集の対象分野としては、人文系博物館として考古、歴史、民俗、美術・工芸等の資料収集を原則とするが、これのみに限定されることなく必要に応じて自然史系資料などの収集を行う。

また、収集する資料は一次的資料（直接資料）を原則とするが、展示活用の観点から模型・模造・複製といった二次資料（間接資料）も収集の対象としていく。

展示の充実及び当館収蔵コレクションの充実を図り、入館者数の維持・増大という目的を達成するため、具体的には以下のテーマに基づいて資料の収集を行う。

1. 銅に関連する資料

朝霞市は、江戸時代以来、伸銅工業の栄えた地域として知られている。

当館には、寄贈を受けた伸銅工業関連資料が多数あり、伸銅関係の展示も重視しているが、民俗資料が中心であり展示の展開の幅にも限界がある。

そこで伸銅工業関連資料だけでなく、また民俗資料に限定されることなく、銅に関連した資料を収集し、様々な角度から銅に関する展示を展開する。

2. 水車に関連する資料

伸銅を行う過程で水車は必要不可欠な道具であった。また、伸銅工業だけでなく市内には古来より「川」が流れており、その「川」を生活の糧としていた人々も多くいた。

そこで「川」と「人々」を結びつける道具の一つである水車に焦点をあてその資料の収集を図り、かつ展示に活用していく。

3. 鷹に関連する資料

江戸時代、現在の朝霞市域の一部は将軍家・尾張徳川家の鷹場であり鷹狩によって、生活に影響を受けた人々が存在した。

そこで鷹場あるいは鷹狩に関する充実した展示ができるように、鷹に関する資料を収集していく。

4. その他の資料

資料の収集に際して、効率的に目的を達成するためには上記のようにテーマを設定することが必要だが、市立の博物館としてはこれのみに限定されるべきではない。そこで朝霞市及び周辺地域に関する資料でかつ当館にとって必要な資料がある場合については、テーマに関わらずこれを収集していくように努める。

(2) 朝霞市博物館学芸員実習生受入実施要項

(実習生の資格)

第1条 次の項目を満たす者とする。

- (1) 大学（大学院を含む）において、博物館実習以外の必要科目（博物館法施行規則第1条の規定に基づく）の単位（博物館実習事後指導を除く）を実習実施年度末までに習得済ないし習得見込みである者
- (2) 当館が指定する全日程に出席できる者

(受入人数)

第2条 実習生の受入人数は、原則として8人以内とする。

(優遇措置)

第3条 第1条に規定する選考を行うに当たっては、次のいずれかに該当する者に限り、優先して選考するものとする。この場合において、東洋大学以外の他の大学については原則として、1大学につき2人を上限とすることができる。

- (1) 朝霞市並びに和光市、志木市、新座市に在住又は在学する者
- (2) 朝霞市に校舎のある東洋大学に在学する者

(申込及び受付)

第4条 申込書は、毎年1月から配布する。

- 2 申込書及びその他の必要書類は、履修希望者本人の来館時にのみ配布する。
- 3 申込書の受付は、毎年2月から5月末までとし、必要書類を履修希望者本人が持参の上提出しなければならない。

(受入の可否)

第5条 受入の可否については、申込書の受付終了後、20日以内に決定し、文書で各大学等宛に通知する。

(実習期間)

第6条 実習期間は、毎年度7月から8月までのうち2週間程度実施する。

- 2 前項の日程の詳細については、毎年度4月以降に決定する。

(実習内容)

第7条 実習内容は、毎年度4月以降に決定する。

- 2 前項の内容の詳細については、博物館に在職する学芸員の意見を考慮し、これを決定する。

(その他)

第8条 実習中に事故等が生じた場合、その責は本人及び所属大学が負うものとする。

附 則

この要項は、平成15年11月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成22年7月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成27年12月25日から施行する。

(3) 朝霞市県展作品展開催要項

(趣旨)

第1条 本作品展は埼玉県美術展覧会（以下「県展」とする）における市内出品者の入選・委嘱・招待作品等を紹介することにより、市民が創作した身近な作品をとおして、芸術作品を楽しみ、自らの創作意欲の高揚を図ることを目的とする。

(名称)

第2条 名称は、テーマ展示 朝霞市県展作品展（以下「作品展」とする。）とする。

(主催)

第3条 主催は朝霞市教育委員会・朝霞市博物館とする。

(協賛)

第4条 朝霞市内で活動し市民が会員となっている芸術団体より申し出があるときは、協議の上、協賛団体とするか否かを決定する。協賛団体と認められた団体については、翌年の「作品展」から協賛団体とする。また、協賛の申し出及び、次年度以降も協賛を継続する場合には、年度ごとに団体の会員名簿を作成し、それを朝霞市博物館へ提出する。

(会期)

第5条 会期については年度ごとに朝霞市博物館が決定する。

(会場)

第6条 会場は朝霞市博物館とする。

(出品種目)

第7条 出品種目については「県展」開催要項に準ずるものとする。

(出品者)

第8条 出品者はその年の「県展」入選・招待者のうち、朝霞市在住・在勤・在学（市内の高等学校・大学・専門学校）者及び、協賛団体会員とする。協賛団体会員については、その年の4月1日付提出の名簿に記載されている会員のみとする。

(出品作品)

第9条 その年の「県展」に出品したものとする。

(搬出・搬入)

第10条 朝霞市博物館が行うが、出品者の都合が悪い場合はこの限りではない。

(展示)

第11条 朝霞市博物館が行い、協賛団体より出る代表者が、展示指導を行う。「作品展」に展示された出品者は、展示作品の位置、配列等に対して異議を申し立てることはできない。

(その他)

第12条 出品作品は努めてこれを保護するが、正常な管理状態のもとにおいて生じた事故（損傷・紛失・盗難・展示による退色等）については、その責任を負わない。出品作品は写真撮影の上、「作品展」のパンフレットに掲載する。

附 則

この要項は平成14年4月1日から施行する。

附 則

この要項は平成21年7月1日から施行する。

(5) 朝霞市博物館条例・朝霞市博物館管理規則

○朝霞市博物館条例

平成8年10月1日

条例第18号

改正 平成24年3月29日

条例第9号

改正 平成28年6月27日

条例第30号

(設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)第2条第1項に規定する博物館として、朝霞市博物館(以下「博物館」という。)を朝霞市岡2丁目7番22号に設置する。

(入館料)

第2条 博物館の入館料は、無料とする。ただし、博物館が期間を定めて特別の企画による資料を展示した場合には、市長は、入館料の額を定め、これを徴収することができる。

(入館料の免除)

第3条 市長は、次の各号のいずれかに該当する者については、前条ただし書の入館料を免除することができる。

- (1) 教育課程に基づく学習活動として入館する朝霞市立、志木市立、和光市立又は新座市立の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程又は特別支援学校の小学部及び中学部の児童又は生徒
- (2) 前号に掲げる者の引率者
- (3) 博物館主催の事業に参加する者
- (4) その他市長が特別の理由があると認める者

(入館料の還付)

第4条 既納の入館料は、還付しない。ただし、朝霞市教育委員会は、特別の理由があると認めるときは、入館料を還付することができる。

(博物館協議会)

第5条 法第20条第1項の規定に基づき、朝霞市博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(定数)

第6条 協議会の委員(以下「委員」という。)の定数は、10人とする。

(任命)

第7条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命する

(任期)

第8条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第9条 協議会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第10条 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

- 2 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければならない。
- 3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第11条 協議会の庶務は、博物館において処理する。

(委任)

第12条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、平成9年2月12日から施行する。

附 則 (平成24年条例第9号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則 (平成28年6月27日条例第30号)

この条例は、公布の日から施行する。

○朝霞市博物館管理規則

平成8年10月25日

教育委員会規則第4号

最近改正 平成24年3月29日

教育委員会規則第2号

(趣旨)

第1条 この規則は、朝霞市博物館条例(平成8年朝霞市条例第18号。以下「条例」という。)第12条の規定に基づき、朝霞市博物館(以下「博物館」という。)の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)である場合を除く。)
 - (2) 休日の翌日(その日が土曜日、日曜日又は休日である場合を除く。)
 - (3) 1月1日から同月4日まで及び12月27日から同月31日まで
 - (4) 館内整理日(毎月第4金曜日。ただし、その日が休日である場合を除く。)
- 2 前項の規定にかかわらず、朝霞市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、必要があると認めるときは、臨時に休館日を定め、又は休館日に開館す

ることができる。

(開館時間)

第3条 博物館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育委員会は、必要があると認めるときは、これを変更することができる。

(入館料の納付)

第4条 博物館が期間を定めて特別の企画により展示する資料(条例第2条ただし書の規定により、入館料の額を定めたものに限る。)を観覧しようとする者は、入館料を納付し、入館券(様式第1号)の交付を受けなければならない。

(入館料の免除申請)

第5条 条例第3条の規定により入館料の免除を受けようとする者は、朝霞市博物館入館料免除申請書(様式第2号)を市長に提出しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(遵守事項)

第6条 館長は、博物館の入館者の遵守事項を定め、入館者に対して随時必要な指示をすることができる。

(入館の制限)

第7条 館長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入館を禁止し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 博物館の施設、設備、資料等を破損し、汚損し、又は亡失するおそれのあるとき。
- (2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑となる行為をするおそれのあるとき。
- (3) その他博物館の管理上支障があるとき。

(損害賠償の義務)

第8条 入館者は、故意又は過失により、博物館の施設、設備等に損害を与えたときは、速やかに原状に復し、又は教育委員会が相当と認める額を賠償しなければならない。

2 入館者は、資料を破損し、汚損し、又は亡失したときは、教育委員会が相当と認める現品又は代価をもって賠償しなければならない。

(資料の館内特別利用)

第9条 学術上の研究のため資料を館内で特別に利用しようとする者は、朝霞市博物館資料館内特別利用許可申請書(様式第3号)を提出し、館長の許可を受けなければならない。

2 前項の許可は、朝霞市博物館資料館内特別利用許可書(様式第4号)を交付して行うものとする。

(資料の館外貸出し)

第10条 他の博物館、図書館、公民館、学校その他館長が相当と認めた者は、資料の館外貸出しを受けることができる。

2 資料の館外貸出しを受けようとする者は、朝霞市博物館資料館外貸出許可申請書(様式第5号)を提出し、館長の許可を受けなければならない。

3 前項の許可は、朝霞市博物館資料館外貸出許可書(様式第6号)を交付して行うものとする。

(資料の寄贈及び寄託)

第11条 館長は、資料の寄贈及び寄託を受けることができる。

2 資料を寄贈しようとする者は博物館資料寄贈申請書(様式第7号)を、資料を寄託しようとする者は博物館資料寄託申請書(様式第8号)を館長に提出するものとする。

3 館長は、資料を寄贈した者に対し博物館資料受領証(様式第9号)を、資料を寄託した者に対し博物館資料受託証(様式第10号)を交付するものとする。

4 寄贈を受けた資料は、寄贈者の氏名及び寄贈年月日を記録して、永くその芳志を伝える。

5 資料の寄託は、無償とし、寄託を受けた資料は、博物館所蔵の資料と同様の取扱いをするものとする。ただし、第9条に規定する資料の館内特別利用及び第10条に規定する資料の館外貸出しについては、寄託者の承認を得なければならない。

6 館長は、寄託を受けた資料が通常管理の下で損傷又は亡失したときは、その責任を負わないものとする。

(資料の借用)

第12条 館長は、博物館の展示又は研究に資する目的で、期間を定め、資料を借用することができる。この場合において、館長は、貸与者に対し博物館資料借用書(様式第11号)を交付するものとする。

2 借用した資料は、博物館所蔵の資料と同様の取扱いをするものとする。

3 借用した資料は、第9条に規定する資料の館内特別利用については、貸与者の承認を得なければならない。

4 借用した資料は、第10条に規定する資料の館外貸出しについては、行わないものとする。

(職員)

第13条 博物館に館長及び学芸員を置く。

2 前項に定めるもののほか、朝霞市教育委員会教育長(以下「教育長」という。)は、その他必要な職員を置くことができる。

(職務権限)

第14条 館長は、上司の命を受け、博物館の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

2 学芸員は、上司の命を受け、専門的事務に従事する。

(委任)

第15条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、平成9年2月12日から施行する。

附 則 (平成11年教委規則第4号)

この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則（平成19年教委規則第5号）
この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成21年教委規則第7号）
この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成24年教委規則第2号）
この規則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

様式第1号（第4条関係）

入 館 券

朝霞市博物館

入 館 券

年 月 日から
年 月 日まで
円

様式第2号（第5条関係）

**朝霞市博物館
入館料免除申請書**

年 月 日

朝霞市長 様

申請者 住 所
氏 名
電 話

次のとおり入館料の免除を受けたいので申請します。

入 館 年 月 日	年 月 日 午前・午後 時 分から 午前・午後 時 分まで
入 館 人 数	人
免除を受けようとする入館料の額	
免 除 の 理 由	条例第3条 第1号・第2号・第3号 第4号() に該当するため。
備 考	

様式第3号（第9条関係）

**朝霞市博物館資料
館内特別利用許可申請書**

朝霞市博物館長 様

次のとおり朝霞市博物館資料の館内特別利用をしたいので申請します。

申請年月日	年 月 日	受付番号		
申 住 所	電 話			
請 氏 名				
者 団体名				
利用目的				
利用資料	資料番号	資 料 名	数 量	備 考
利用区分	閲覧・複写・複製・撮影・その他()			
利用期間	年 月 日()から 年 月 日()まで			
利用責任者				

※ 寄託資料については寄託者の承認書を、借用資料については貸与者の承認書を、著作権者がある資料については著作権者の承認書を添付してください。

様式第4号（第9条関係）

**朝霞市博物館資料
館内特別利用許可書**

次のとおり朝霞市博物館資料の館内特別利用を許可します。

申請年月日	年 月 日	受付番号		
申 住 所	電 話			
請 氏 名				
者 団体名				
利用目的				
利用資料	資料番号	資 料 名	数 量	備 考
利用区分	閲覧・複写・複製・撮影・その他()			
利用期間	年 月 日()から 年 月 日()まで			
許可条件				

※ この許可書は、朝霞市博物館資料館内特別利用の際に提示し、利用期間中携帯してください。
年 月 日

朝霞市博物館長

様式第5号 (第10条関係)

朝霞市博物館資料 館外貸出許可申請書

朝霞市博物館長 様

次のとおり朝霞市博物館資料の館外貸出しを受けたいので申請します。

申請年月日	年 月 日	受付番号		
申請者	住所 電話			
氏名				
団体名				
利用目的				
貸出資料	資料番号	資料名	数量	備考
貸出期間	年 月 日()から 年 月 日()まで			
利用場所				
利用方法				
輸送方法				
取扱責任者				

※ 寄託資料については寄託者の承認書を、著作権者がある資料については著作権者の承認書を添付してください。

様式第6号 (第10条関係)

朝霞市博物館資料 館外貸出許可書

次のとおり朝霞市博物館資料の館外貸出しを許可します。

申請年月日	年 月 日	受付番号		
申請者	住所 電話			
氏名				
団体名				
利用目的				
貸出資料	資料番号	資料名	数量	備考
貸出期間	年 月 日()から 年 月 日()まで			
利用場所				
利用方法				
輸送方法				
許可条件				

※ この許可書は、朝霞市博物館資料の館外貸出しを受ける際に提示してください。

年 月 日

朝霞市博物館長

様式第7号 (第11条関係)

博物館資料寄贈申請書

年 月 日

朝霞市博物館長 様

申請者 住所
氏名
電話

次のとおり博物館資料として寄贈したいので申請します。

資料名	数量	備考

様式第8号 (第11条関係)

博物館資料寄託申請書

年 月 日

朝霞市博物館長 宛

申請者 住所
氏名
電話

朝霞市博物館管理規則第11条の規定により、資料を寄託したいので、次のとおり申請します。

寄託期間	年 月 日()から 年 月 日()まで		
	寄託期間は、期間満了時まで寄託者から返還の請求がない場合には自動的に更新される。更新後の寄託期間は 年とする。		
	資料名	数量	備考
寄託資料			

様式第9号 (第11条関係)

博物館資料受領証

第 号
年 月 日

様

朝霞市博物館長

次のとおり博物館資料として受領しました。

資 料 名	数 量	備 考

様式第10号 (第11条関係)

博物館資料受託証

第 号
年 月 日

様

朝霞市博物館長

次のとおり博物館資料として受託しました。

寄 託 期 間	年 月 日 () から 年 月 日 () まで 寄託期間は、期間満了時までに寄託者から返還の請求がない場合には自動的に更新される。更新後の寄託期間は 年とする。		
寄 託 資 料	資 料 名	数 量	備 考

備考 寄託を受けた資料は、博物館所蔵の資料と同様に取扱いいたしますが、通常の管理の下で損傷又は亡失したときは、その責めを負わないものとさせていただきます。

様式第11号 (第12条関係)

博物館資料借用書

年 月 日

様

朝霞市博物館長

次のとおり博物館資料として借用しました。

借 用 期 間	年 月 日 () から 年 月 日 () まで		
借 用 理 由			
借 用 資 料	資 料 名	数 量	備 考
取 扱 担 当 者			

※ この借用書は、博物館資料の返却時に返していただきますので、大切に保管してください。

(6) 利用案内

<開館時間>

午前9時～午後5時

<休館日>

月曜日（祝日・振替休日にあたる場合は開館）

第4金曜日（館内整理日）

祝日の翌日（ただし、その日が土曜日・日曜日にあたる場合は開館）

年末年始（12月27日～1月4日）

その他館内消毒等のため臨時休館することがあります。

<入館料>

無料（ただし、企画展等の場合には有料の場合もあります。）

<交通案内>

JR 武蔵野線北朝霞駅・東武東上線朝霞台駅から約1km、徒歩約15分

または市内循環バスで、博物館前バス停下車徒歩1分、朝霞市斎場バス停下車徒歩5分

<お問い合わせ>

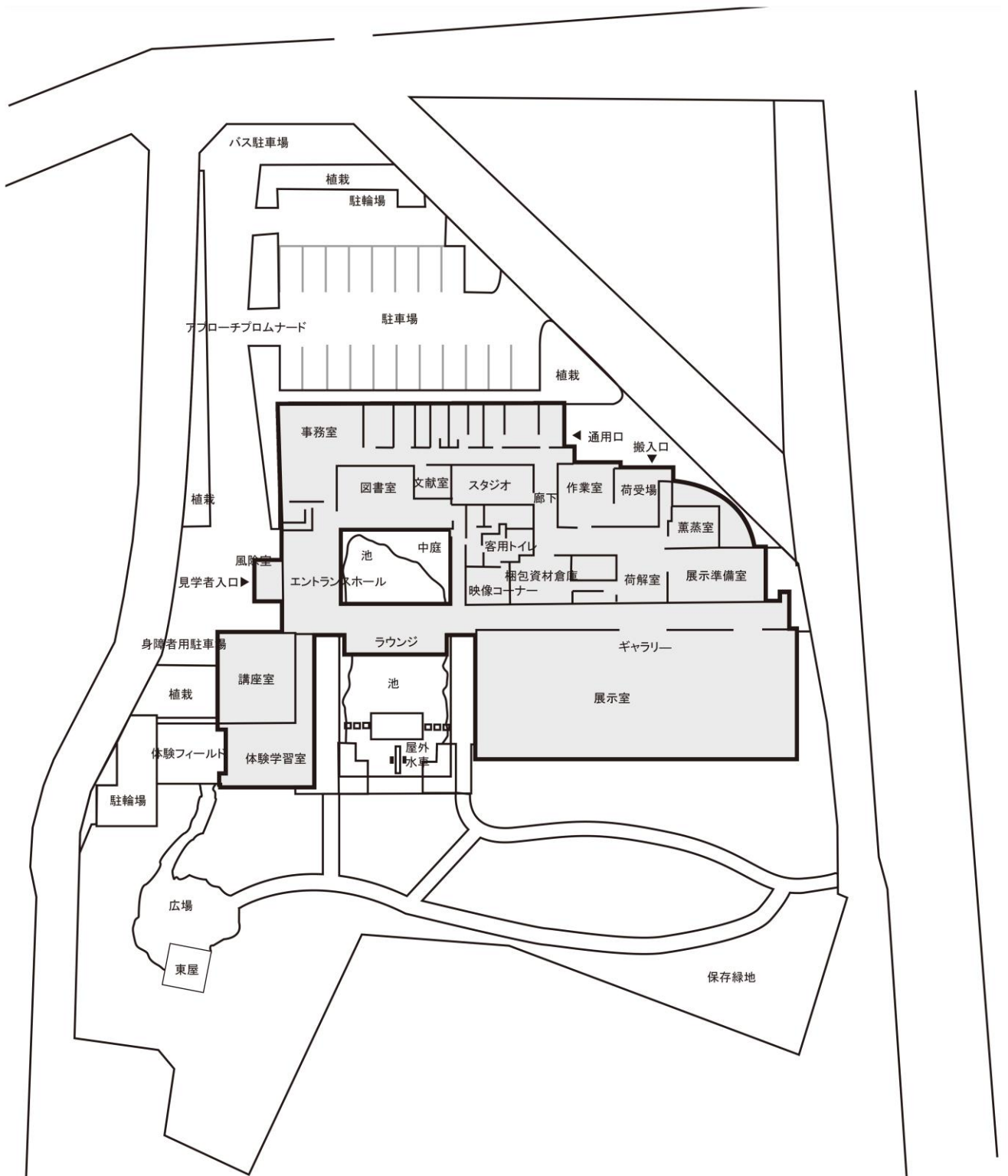
〒351-0007 埼玉県朝霞市岡2丁目7番22号

TEL048-469-2285 FAX048-468-0079

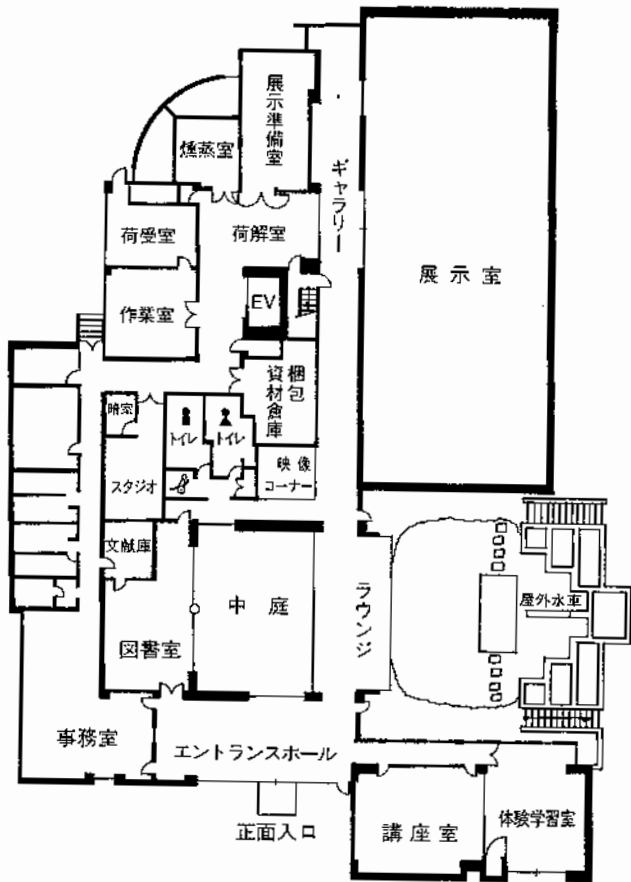
E-mail : bunkazai@city.asaka.lg.jp



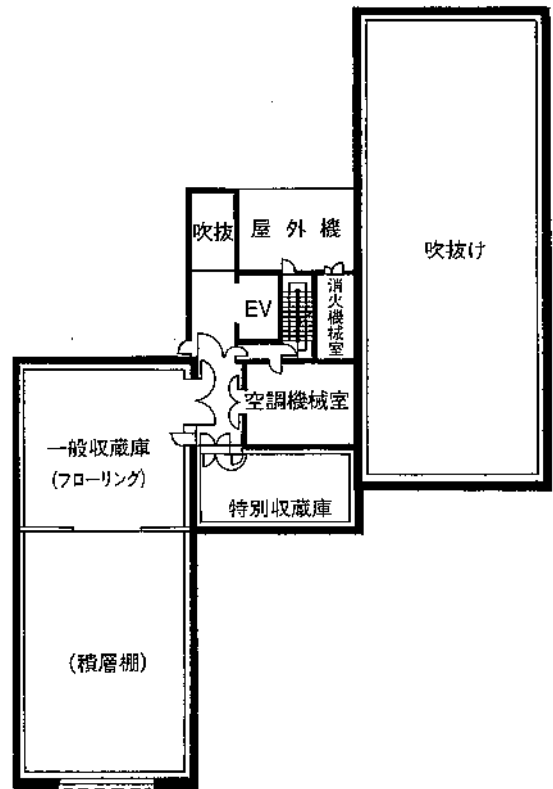
(7) 博物館全体図



(8) 博物館平面図



1階平面図



2階平面図

施設概要

敷地面積 6,406 m²
 建築面積 1,729 m²
 延床面積 2,500 m²
 構造規模 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、地上2階建

主な部屋面積

●展示室	452 m ²	●ギャラリー	126 m ²	●講座室	74 m ²
●体験学習室	74 m ²	●図書室	63 m ²	●映像コーナー	44 m ²
●ラウンジ	56 m ²	●エントランスホール	87 m ²	●一般収蔵庫	537 m ²
●特別収蔵庫	71 m ²	●スタジオ・暗室	44 m ²	●事務室	96 m ²

駐車場 22台
 駐輪場 94台

朝霞市博物館要覧第 10号

平成 29 年 3 月 31 日発行

発行 朝霞市博物館
〒351-0007 朝霞市岡 2-7-22
Tel.048-469-2285

